

# 令和 5(2023) 年度事業報告書 (令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

認定特定非営利活動法人 ローンボウルズ日本

目次	頁
1. 総括：事業の成果の評価と反省 -----	2
① 競技施設の拡充をはかる事業については、-----	2
② 競技の周知をはかり、競技人口を増やすことについては、-----	3
③ 組織の強化・充実をはかることについては、-----	3
2. 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項の費用支出実績 -----	5
<別紙> 実施事業内容の詳細 -----	6
ローンボウルズの普及振興事業 -----	6
(1) 全国の公共団体等に施設新設および既存施設の利用条件向上を求める活動-----	6
(2) 広報活動 -----	8
(3) 日本選手権大会などの開催 -----	10
(4) BJ 公認アンパイア資格認定制度-----	15
(5) 地方競技会の開催 -----	17
(6) ローンボウルズ人口拡大のための初心者体験教室等の開催 -----	17
(7) 技術普及・向上講習会などの開催 -----	20
(8) 「強化対象選手」制度の運用 -----	20
(9) 障がい者ローンボウルズ普及活動-----	22
1) (公財) 日本障がい者スポーツ協会関連活動実績-----	22
2) その他 当法人としてローンボウルズ普及活動実績-----	23
(10) 用具・物品購入の斡旋 -----	25
(11) 組織の強化・充実 -----	26
1) 上部団体との連携強化 -----	26
2) 総会、理事会の開催 -----	28
3) 定期理事連絡会の開催 -----	34
4) 専門部の活動について -----	36
5) 関東および関西ローンボウルズ協会活動-----	38
6) ガバナンスコード適合性審査対応-----	47
世界ボウルズ機構(World Bowls Ltd)との連帯事業 -----	49
(1) 国際大会への参加など -----	49
(2) 外国選手が来日しての国内交流イベント-----	53

## 1. 総括：事業の成果の評価と反省

### 1) 競技施設の拡充をはかる事業については、

英国発祥と言われているローンボウルズというスポーツは「シェークスピア」の作品の中にも名前が出てくるほどに歴史の古いスポーツであり、現代においては世界選手権大会やワールドカップ大会なども定期的に行われている国際的スポーツである。最近ではアジア・パラ競技大会の正式種目にも採用されていて、アジア各国にも広がりつつある。

にもかかわらず、日本国内での知名度が低く競技人口がたいへん少ないのは、専用の競技場の存在するのが国内において東京、横浜と神戸および明石くらいであり極めて限られているからである。2026年に愛知県名古屋市で開催されるアジア・パラ競技大会にも正式種目であるローンボウルズを是非とも開催して欲しいと愛知県庁に出かけてお願いしたが、愛知地区にはローンボウルズ競技場がない、またこれを新設する予算的余裕はない、という理由によりせっかく過去3回はアジア地区で継続されていたローンボウルズが愛知県名古屋で中断することになってしまった。

ローンボウルズの普及を事業目標としている当法人としては、まずこの競技施設の設置数を国内にもっと増やすことが最優先課題であるとして取り組んできているが、その実態は遅々として進んでいないというのが現状である。

そんな状況下で、数少ない既存施設だけでも消滅させないように大切に維持していこうと努力しているのが2023年度の実情であった。

主要施設の1つである神戸市しあわせの村のローンボウルズ場(10リンク)については、神戸市が2020年度にやっと予算を付けていただき、天然芝から人工芝への改修を2021年5月末に完工できて、現状は日本国内でもっともコンディションの良い競技施設として週6日間の営業を順調に継続している。一方、主要施設のもう1つである明石市内の県立明石公園ローンボウルズ場(12年前に人工芝改修実施、7リンク)については、人工芝の摩耗寿命時期になっているが、兵庫県の財政事情がよろしくないという事情により改修工事の着手がまだ実現していない。2023年7月には、グリーン・コンディションが極めて悪くなっており、もはや日本選手権大会や国際大会等の公式競技大会は現状では中止せざるを得ない状況になっているということを訴える1,400名の改修嘆願署名簿を兵庫県知事に提出した。その結果、2024年度の予算の確保ができ、年度末(12月から3月まで)には改修工事が実施できる見込みとの連絡を県の担当部門から受けることができた。

東日本地区では、東京都立川市の国立昭和記念公園内のローンボウルズ場(人工芝、5リンク)がパブリック施設であるが、リンク数が少ないために国際大会は開催できない。横浜市にあるプライベート(会員制スポーツクラブ)

施設である横浜カントリー&アスレチック クラブのローンボウルズ場（天然芝、7リンク）は専任のグリーンキーパーも居て良好にメンテナンスされており、東日本区で唯一の公式の競技大会（日本選手権大会やジャパンオープン国際大会など）を開催できる唯一の施設ということになっている。

そのほかに、インドア・カーペットによる普及なども取り組みを進めて、それぞれに小規模ながら成果を挙げつつあるが、詳細は後のページで報告する。

なお、従来から期待していたオーストラリアの GBS 社による日本進出プロジェクトは撤退が正式決定された。日本国内の意思決定が遅いことがその理由であった。

## 2) 競技の周知をはかり、競技人口を増やすことについては、

新型コロナウイルス感染症問題が発生してから丸4年が経過し、沈静化して当法人の公式の国内日本選手権大会も 2022 年度から復活させることが出来たし、その他の事情計画もほぼ旧に復したが、この4年間の停滞に会員数の減少傾向はまだ回復できていない。「次世代開発部」という専門部を新設し、特に若い年代の会員獲得をはかることを重点に活動開始した 2023 年度であるが、まだまだ緒に就いたばかりというところである。

2022 年 5 月に開催予定であった「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西大会」も「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西大会」として 2027 年 5 月まで延期されたが、大会種目（オープン種目であるが）として名前を連ねることはローンボウルズの認知度向上のためには重要であり、長期戦ではあるが頑張らねばならない。

また、アジア選手権大会、世界選手権大会、アジア・パラ競技大会等に日本代表選手を派遣し入賞することで地元出身選手の活躍を市や県や国に認知してもらうことは競技の認知度を高めるために重要であるとの考えで、競技選手の強化にも議論を重ねてきた1年であった。

2022 年度にキックオフさせた、将来のナショナル・チーム制度発足を視野に入れた「強化対象選手」制度とその訓練プランは、2023 年度は諸般の事情によりいったん中断せざるを得なかったが、2023 年 9 月にオーストラリアのゴールドコーストで開催された世界選手権大会では男子トリプルズ種目において決勝トーナメントに進出しベスト 8 に入る、また男子シングルス種目ではベスト 12 に入る成績を残しメダル獲得に今一步というところまで行った。また 2024 年 3 月にタイのパタヤで開催されたアジア選手権大会では女子トリプルズおよび女子フォアーズの2種目で銅メダルを獲得し、表彰台での日章旗掲揚を見ることが出来た。2024 年度は関係者の事情を配慮した新しい「強

化対象選手」制度を運用できるようにして、国際大会でも更なる成果の向上をはかることが必要であると考えられる。

### 3) 組織の強化・充実をはかることについては、

令和5(2023)年4月に役員改選が完了し、来田会長、児島理事長、松原副会長、吉中副会長の新体制がスタートした。理事もほぼ半数以上を新任者が占めることになり、ややとまどうことも多かったが何とか乗り切れた1年間であった。

2020年度にスポーツ庁による「スポーツ団体向けガバナンスコード適合性審査制度」がスタートし当法人は、ローンボウルズと言うスポーツの「中央競技団体 National Federation」として2020年度に初回審査を受けた。審査は「ガバナンスコード」に定めるガバナンス(規律ある統治)、コンプライアンス(法令順守)、インテグリティ(高潔性)の観点からの43の審査項目において不適合がないかどうかを審査されるというきびしいものであるが、初回審査では「現状は不適合であるが、これから努力して改善します。」といういくつかの項目も含まれる内容で、なんとか「不適合なし」の結果を得ることが出来た。2024年度には2回目の審査を受けることになっており、ここで43項目の1項目でも「不適合」とされると「日本スポーツ振興センター」の助成金が得られなくなるという大きなペナルティが課せられることになっている。

重要課題の1つである「中長期計画の策定」については、第1回審査では「2020-2024年度5ヶ年中期計画」の数値目標計画をトップダウンで策定し、取り組んだが、早々に新型コロナウイルス感染対策ですべての活動を停止せざるを得ないという事情が発生して、ほとんどの目標値が未達におわってしまった。

「2025-2029年度次期5ヶ年中期計画」の策定にあたっては、もっとボトムアップに近い形で進めようということで「次期5ヶ年中期計画」策定プロジェクトチームを発足させて2023年度の終盤から活動を開始した。2024年12月までに策定を完了させるというスケジュールで推進している。

重要課題のもう1つである「外部理事比率25%、女性理事比率40%の達成」については2023年度には外部理事比率は16%、女子理事比率は48%となりほぼ目標をクリアしつつあり、その他のいくつかの委員会の設立とか諸規定の整備もほぼ順調には進められているが、形だけでなく中味の充実化はまだ課題は多いと言える。

2. 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項の費用支出実績

定款の事業名	事業内容	内容詳細	支出項目	支出金額(千円)
ローンボウルの普及振興事業	(1) 施設新設および既存施設の併用事業		合計費用	0
	(2) ホームページの運用	ウェブサイト維持管理料		(10)
	(3) 広報活動	広報パンフレット印刷		(35)
			合計費用	45
	(3) 日本選手権大会など開催	大会運営スタッフ日当 会場使用料 賞品購入費 通信運搬費 消耗品費 支払い手数料		(120) (37) (127) (8) (26) (5)
			合計費用	323
	(4) 地方競技会開催	地区協会にて負担	合計費用	0
	(6) 障がい者ローンの普及と競技力の向上	障がい者選手の競技力向上事業実施費用	合計費用	1,661
	(7) 技術普及・向上講習の開催（アンパイア資格認定講習・試験）	講習会会場使用料 講師日当 資料コピー費		(19) (27) (2)
			合計費用	48
(8) 用具購入の斡旋	物品仕入れ費	合計費用	89	
(9) 組織の強化・充実	上部団体への加盟費用 地区協会への助成金等 事務局員ボランティア謝金 野口弁護士謝金 通信運搬費 消耗品費 会計ソフト保守料		(258) (204) (60) (33) (2) (2) (9)	
		合計費用	568	
世界ボウルズ機構との連帯事業	(10) 世界選手権など国際大会への参加		合計費用	2,768

合計 5,502(千円)

## 実施事業内容の詳細

### ローンボウルズの普及振興事業

#### (1) 全国の公共団体等に施設新設および既存施設の利用条件向上を求める活動

##### 1) 京都市右京区京北周山町 旧京北小学校体育館内インドアカーペット・グリーン

- \* 閉校した旧京北小学校の体育館を借りてカーペットを持ち込みインドア・グリーンとして活動することが軌道に乗っている。LC 京都クラブが拠点としていた京都先端科学大学の体育館が新型コロナウイルス感染対策で外部への貸し出しを一旦中止された時期をきっかけとして、現在は LC 京都クラブのメインの練習拠点はこちらに移った。7月9日(日)にはここを会場として第1回京都シャンティ杯インドア・ローンボウルズ大会が盛大に開催された。

また、亀岡運動公園体育館においても、京都府の助成金で購入したインドアカーペットでの練習会が11月より、月1回程度実施されるようになった。(関連記事は43,44ページ参照)。

##### 2) 高知大学(高知県高知市)校内のインドアカーペット・グリーン

- \* 高知大学人文社会科学部の川本真浩教授が大学内での授業および研究活動の一環として、平成28年度以降から大学体育館内に導入されたインドアカーペット・グリーン2リンク(順次に設置規模を拡大)が着実に成果を挙げており、ローンボウルズに関心を持つ若者が高知において増えてきている。

12月3日～8日までローンボウルズ発祥の地の英国スコットランドで開催された世界ジュニア(U-25)選手権大会には高知大学生の長本祐太選手が日本代表として出場し、メダル獲得一歩手前までの活躍をしてきた。(関連記事は51ページ参照)。

##### 3) オーストラリア GBS 社の投資資金によるグリーン新設事業は撤退が決定

- \* 平成28年11月にオーストラリア・ブリスベーンに本拠がある Global Bowls Solution 社(代表責任者 Danny Keating 氏 当時65歳)からコンタクトがあり、関東地区に屋根付き人工芝ローンボウルズグリーン1面(8リンク)を新設して、日本でのローンボウルズ普及活動をはかりたいので、BJの協力を得たいとの相談があつて、その後、Danny Keating 氏が数度にわたって来日し、主として YC&AC の依田氏らを介して横浜市その他各所と折衝を続けてこられた。

また昨年度は下に記す「明石公園への導入」についても関係部門へのプレゼンテーションまで実施したが、決定までに長時間を有する見込みである等の理由により、GBS 社としてもこれ以上の年月を要することは待てないとの判断で、日本進出はギブアップするとの決断が今年の6月になされた。

#### 4) 明石公園グリーンの改修等について

\* 前回の人工芝グリーンの改修からほぼ10年が経過して芝の磨耗および地盤の平坦度の狂いなどが顕著となってきたが、兵庫県の予算が制約されているという事情により、2年前の2021年5月にはグリーンの平坦度補修の改修のみを施行して、表面の人工芝は再使用していた。その後人工芝の劣化も進み継ぎ目に断裂が発生してきたことから昨年2022年4月に、人工芝の更新の着手を再度要請した。さらに今年2023年7月18日には、グリーン・コンディションが極めて悪くなっており、もはや日本選手権大会や国際大会等の公式競技大会は現状では中止せざるを得ない状況になっているということを訴える1,400名の改修嘆願署名簿を兵庫県知事に提出した。

その結果、兵庫県県土整備部公園緑地課として2024年度での改修予算確保が出来、年度内に改修工事を実施していただけることになった。

#### 5) 神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーンの改修について

\* 令和2年(2020年)12月1日から令和3年(2021年)5月31日までの6か月間を要して、天然芝から人工芝への改修が完了してから3年が経過した。グリーン・コンディションは良好に維持されており、各プレイヤーの技術レベルの向上も目ざましいものがあるが、ボウルが頻度高く転送するラインとそれ以外の部分とで微妙な表面の磨耗状況の差が見られるようになっており、1/4ずらし使用による人工芝寿命延長策の採用を施設管理者側に申し入れするなどのアクションを起こしている。

#### 6) 明石中央体育会館内インドア・グリーンについて

\* 明石市中崎遊園地ローンボウルズグリーン代替策として、2021年度から明石市がインドア・ローンボウルズ・カーペット5.5m巾×25m長さ2リンク分を明石中央体育会館に購入・保管していただいて3年を経過したが、利用状況は下記のとおりで順調に推移している。

- ① 毎月1回 月曜日13:00-16:00に、明石市ローンボウルズ協会(ALBC)および明石クラブ(旧中崎)が主体となって定期的な体験教室兼練習会を開催している。
- ② 毎年2回(春および秋)に、明石市ローンボウルズ協会主催の「インドア・ローンボウルズ大会」を開催している。

#### 7) 立川昭和記念公園グリーンのリンク数拡大促進運動について

\* 2021年10月4日(月)から11月22日(月)までの約1.5か月をかけて、既存人工芝の張替え工事が実施された。既存人工芝の水はけが悪くなったということにより、国が自発的に張替えたものであった。利用者側へのヒヤリングとか告知とかは無かったために、当法人としては関与することができず、リンク数拡大などを求める機会を失した。

関東地区で唯一のパブリックの屋外ローンボウルズ競技場であるので、大切な利用を継続して行きたい。

8) 公益社団法人横浜カントリー・アンド・アスレチッククラブ (YC & AC) のローンボウルズグリーンについて

- \* YC & AC は 120 年以上の歴史を有する会員制のスポーツ社交クラブであり、原則としてその施設は会員以外にはオープンにされていないが、その会員が当法人の会員でもあるのでローンボウルズ日本選手権大会等に際しては友好的に使用を許可する等の便宜を取り計らっていただいている。天然芝の 7 リンクグリーンで、専任のグリーンキーパーも置かれていてコンディションは良好であるが冬場を芝の養生のためにクローズされるとか、障がい者車いす使用は許可されていないなどの制約がある点が若干の課題となっている。ローンボウルズ普及・発展のためには、関東地区としては貴重な拠点の 1 つである。

## (2) 広報活動

### 1) ホームページの運用

- \* 2016 年 2 月 16 日から B J 公式ホームページをリニューアルして、会員からの投稿が比較的簡単にできるようにし、できるだけ新鮮な情報をアップできるようにしてから 8 年が経過した。Facebook をリンクしたことで、ここには up to date のトピックが登場するようになり、特に英文を併記して投稿すると海外からの反響が多くあり、日本でローンボウルズが出来ることに対する海外の関心が高いことがうかがえる。また、オーストラリアゴールドコーストでの世界大会に合わせて、Instagram と連動したことで、海外のアクセス数がさらに伸びている。

最近ではホームページ上の「問い合わせ窓口」を通じての問い合わせ件数が増えてきていることから、ホームページがある程度世間に認知されてきていることが伺われる。

- \* 実施場所：法人事務所
- \* 従事者の人数：4 人(スポット的)
- \* 受益対象者の範囲および人数：一般市民不特定多数
- \* 支出金額：サーバーレンタル費、ドメイン使用料金 10,060 円

### 2) メーリングリストによるメールマガジン (BJ ブリテン) の発行

- \* 7 年前からウェブ上の共有ファイル・システムを利用して編集者を 2 名とする体制を取ったことにより、編集者の負担もやや軽減し、毎月 1 回の定期発行については維持されている。



平成 17 年(2005 年)5 月の創刊以来休むことなく 19 年間にわたって継続したことになる。なお、BJ ブリテンは B J ホームページにもアップロードされている。

- \* 実施日時：通期（毎月 1 回 発行）
- \* 実施場所：法人事務所
- \* 従事者の人数：2 名(スポット的)
- \* 受益対象者の範囲および人数：BJ 会員 約 150 名
- \* 支出金額：なし

3) 新聞、テレビ、タウン誌などによるローンボウルズの紹介

今年は特にマスコミに登場するような事例はなかった。

ただし、関西地区の A リーグ大会、SV リーグ大会、M リーグ大会などの定期開催大会や、スポットで開催される大会についても、その都度の結果成績を神戸新聞の「ひょうごスポーツ広場」というページ（毎週火曜日）に情報提供し、掲載してもらっている。これにより、「ローンボウルズというスポーツがあることは知っている」という人はかなり増えていると言える。

4) ローンボウルズを PR する動画の作成および SNS へのアップロード

本年度は広報部、次世代開発部のスタッフが中心となり、ローンボウルズを広く一般市民に認知してもらうことを目的とした動画を制作し Youtube にアップロードすることを試験的に実施した。プロに依頼する予算までは付けられないため、亀岡市での新展開に京都府助成金を獲得し、のセミプロにボランティア・ベースで協力していただく形で推進した。成果物は次の通りである。

① 30 秒でわかるローンボウルズ

<https://youtu.be/jBqHrhvD4nU>

② 広げよう！ローンボウルズの輪！

<https://youtu.be/BhbDja2RuFE>

③ 2023 年度 男子・女子シングルス関西選手権ニュース映像

<https://youtu.be/4k2AC89S-co>

- \* 実施日時：5 月から 8 月までの 4 か月
- \* 実施場所：神戸市しあわせの村などで撮影
- \* 従事者の人数：5 名(スポット的)
- \* 受益対象者の範囲および人数：不特定多数の一般市民
- \* 支出金額：なし（ボランティア・ベースで推進）

5) (公財) 日本レクリエーション協会の「スポーツ・レクリエーション指導者養成カリキュラム」用テキストの制作

(公財) 日本レクリエーション協会はスポーツ・レクリエーションを日本全国に普及させる事業を「スポーツ・レクリエーション指導者」と言う有資格者

を介して推進してきているが、その指導者を養成するテキストの中にこのたび新しくローンボウルズ種目を追加することを決定された。テキスト作成は当法人の森 紘一、川本真浩の2氏が協力されて、10月末にその原稿（A4サイズ、17ページ、写真13枚および図1枚）を日レクに提出した。実際の公開は2025年度からになる予定とのことである。

- \* 実施日時：5月から10月までの6か月
- \* 実施場所：個人宅
- \* 従事者の人数：2名(スポット的)
- \* 受益対象者の範囲および人数：スポーツ・レクリエーション指導者候補
- \* 支出金額：なし（ボランティア・ベースで推進）

#### 5) 自治体等による表彰の受賞

BJ会員が自治体等による表彰を受賞することは、ローンボウルズの知名度向上に資することである。今期は該当する事例として次の2件があった。

- \* 前林典子氏（神戸ボウルズ所属、BJ理事）が令和5年度レクリエーション運動普及振興功労者表彰を受賞

同氏は、明石地区のローンボウルズ普及に貢献されたことに対して（公財）日本レクリエーション協会から上記の表彰を受けた。

- \* 森 紘一、藤川辰美（学園都市ワイズ会員）、前林典子、大杉正樹、山根英輝（神戸ボウルズ会員）、田町智之（甲南ローンボアーズ会員）、西條和子、小林綾子、垣内紀子（ALBC会員）、八杉 瞳（兵庫車いすクラブ会員）の10選手が令和5年度明石市スポーツ優秀選手賞を受賞

10選手は、令和5年度に開催された日本選手権大会で優勝または準優勝または3位に入賞したことに対して明石市から上記の表彰を受けた。

表彰式は、令和6年1月20日（土）午後2時から明石市民会館にて行われた。

なお表彰対象者は明石市在住者、明石市内学校通学者、明石市内企業勤務者、明石市体育協会役員（理事、評議員）および登録会員である。

- \* 小山 潤選手（LC京都所属）が、2023年度男子ペアーズ日本選手権大会優勝の成果に対して京都府スポーツ賞の「優秀賞」を受賞した。2022年度男子シングルス日本選手権大会優勝に続いての2度目の授賞となる。授賞式は3月3日に京都KBSホールで開催され小山裕木恵さんが代理出席された。

### （3）日本選手権大会などの開催

新型コロナウイルス感染対策としての府県を越えての移動の規制などが緩和さ

れ手から 2 年目となり BJ 主催の日本選手権大会（予選、本戦大会）も完全に復活できた。日本選手権大会の上位選手の中からアジア選手権大会当の国際大会へ選手派遣する流れも復活した。

## 1) 日本選手権大会の開催結果

各大会の開催結果は以下の通りである。

### ① 男子シングルス日本選手権大会

- \* 関西地区予選は 6 月 3 日（土）に神戸市しあわせの村グリーンで開催。  
参加者は 18 名であった。
- \* 関東地区予選は 7 月 9 日（日）に横浜市 YC&AC グリーンで、参加者 16 名で開催した。
- \* 本選実施日時：2023 年 11 月 4 日(土)、5 日(日)
- \* 本選実施場所：神戸市しあわせの村グリーン
- \* サポート：B J 関西支部
- \* 従事者の人数：10 人(スポット)
- \* 受益対象者の範囲および人数：12 名  
関東 4 名、関西 6 名、オーストラリア 1 名、前年度チャンピオン 1 名
- \* 成績結果  
優勝 川本真浩 (LB 高知 UC)  
2 位 佐藤寿治 (オーストラリア)  
3 位 藤川辰美 (学園ワイズ)

### ② 女子シングルス日本選手権大会

- \* 関西地区予選は 6 月 4 日（日）に神戸市しあわせの村グリーンで開催。  
参加者は 18 名であった。
- \* 関東地区予選も 6 月 25 日（日）に立川市昭和記念公園グリーンで、参加者 4 名で開催した。
- \* 本選実施日時：2023 年 10 月 21 日(土)、22 日(日)
- \* 本選実施場所：横浜市 YC&AC グリーン
- \* サポート：B J 関東支部
- \* 従事者の人数：6 人(スポット)
- \* 受益対象者の範囲および人数：12 名  
関東 4 名、関西 6 名、オーストラリア 1 名、前年度チャンピオン 1 名
- \* 成績結果  
優勝 松岡 緑 (オーストラリアクラブ)  
2 位 前林典子 (神戸ボウルズ)  
3 位 津山元子 (YC&AC)

③ 男子ペアーズ日本選手権大会

- \* 関西地区予選は5月6日(土)、6月25日(日)に神戸しあわせの村グリーンで開催。参加者は10チーム(20名)であった。
- \* 関東地区予選は8月26日(土)に横浜市YC&ACグリーンで開催。参加者は5チーム(10名)であった。
- \* 本選実施日時：2023年12月2日(土)、3日(日)
- \* 本選実施場所：神戸市しあわせの村グリーン
- \* サポート：関西LB協会
- \* 従事者の人数：4人(スポット)
- \* 受益対象者の範囲および人数：12チーム  
    関東 4チーム、関西 7チーム、前年度チャンピオン 1チーム
- \* 成績結果  
    男子 優勝 田町智之、小山 潤(甲南ロンボアーズ・LC京都)  
        2位 竹田 宏、坂本紘一(神戸タッチャーズ)  
        3位 山根英輝、大杉正樹(神戸ボウルズ)

④ 女子ペアーズ日本選手権大会

- \* 関西地区予選は5月6日(土)、6月25日(日)に神戸しあわせの村グリーンで開催。参加者は6チーム(12名)であった。
- \* 関東地区予選は、8月6日(日)に立川市昭和記念公園グリーンで開催。参加者は2チーム(4名)であった。
- \* 本選実施日時：2023年9月23日(土)、24日(日)
- \* 本選実施場所：横浜C&ACグリーン
- \* サポート：関東LB協会
- \* 従事者の人数：4人(スポット)
- \* 受益対象者の範囲および人数：8チーム  
    関東 2チーム、関西 5チーム 前年度チャンピオン 1チーム
- \* 成績結果  
    男子 優勝 小林麻衣子、高山紗生(東京LBC)  
        2位 小山裕木恵、前林典子(LC京都・神戸ボウルズ)  
        3位 Yuko Sasaki、Yoko Ishiguro(YC&AC)

⑤ 男女フリー・トリプルズ日本選手権大会

- \* 男女不問トリプルズ戦
- \* 関西地区予選は、5月20日(土)に明石公園グリーンで、参加者は12チーム(24名)で開催した。
- \* 関東地区予選は、5月14日(日)に立川市昭和記念公園グリーンで、参加者は7チーム(21名)で開催した。

- \* 本選実施日時：2023年9月9日（土）、10日（日）
  - \* 本選実施場所：神戸しあわせの村グリーン
  - \* サポート：関西LB協会
  - \* 従事者の人数：4人(スポット)
  - \* 受益対象者の範囲および人数：8チーム  
     関東 3チーム、関西 4チーム、前年度チャンピオン 1チーム
  - \* 成績結果  
     優勝 合田洋子、合田純二、森 紘一（学園都市ワイズメンズクラブ）  
     2位 垣内紀子、小林綾子、西條和子（ALBC）  
     3位 吉中康子、小山裕木恵、田町智之（LC京都・甲南LB）
- ⑥ 男女フリー・フォアーズ日本選手権大会
- \* 男女を問わない4名にフォアーズ競技
  - \* 関西地区予選は7月30日（日）に明石市明石公園グリーンで開催。参加者は8チーム（32名）であった。
  - \* 関東地区予選は7月9日（日）に横浜市YC&ACグリーンで開催。参加者は4チーム（16名）であった。
  - \* 本選実施日時：2023年10月7日（土）、8日（日）
  - \* 本選実施場所：立川市昭和記念公園グリーン
  - \* サポート：関東LB協会
  - \* 従事者の人数：3人(スポット)
  - \* 受益対象者の範囲および人数：8チーム  
     関東 4チーム、関西 3チーム、前年度チャンピオン 1チーム
  - \* 成績結果  
     優勝 小林麻衣子、高山紗生、田中希望、松原敬之（東京LBC）  
     2位 児玉智子、田中弘一、井上千加子、坂本紘一（神戸タッチャーズ）  
     3位 八杉 瞳、藤川辰美、森 弘子、森 紘一（兵庫車いす・学園ワズ）

## 2) 年間優秀ボウラー表彰制度

B J主催の日本選手権大会が2022年度から再開されて、年間優秀ボウラー表彰制度についても再開された。本年度の実績は次表の通りであった。

各地区の上位3位までに対してB J理事長名の表彰状などが授与された。

なお、今年度に選手派遣した国際選手権大会は次の6大会である。

2023年5月：インドア・シングルス世界選手権大会（川本、合田（洋））

8月：世界選手権大会（氏名省略 12名）

9月：Champion of Champions（小山〈潤〉、松岡）

10月：アジアパラ競技大会（児島、松本（節））

12月：U-25 インドア世界選手権大会（長本）

2024年3月：アジア選手権大会（氏名省略 12名）

<関東地区ベスト10>

順位	氏名	所属	獲得ポイント内訳											合計	
			日本選手権大会						国際選手権大会						
			男 S	女 S	男 P	女 P	M T	M F	5 月	8 月	9 月	10 月	12 月		3 月
1位	小林麻衣子	東京 LBC		5		16	1	16						18	56
2位	高山紗生	東京 LBC		4		16	1	10						18	49
3位	津山元子	YC&AC		11			5	4						18	38
4位	松原敬之	東京 LBC	1		5		1	16							23
	田中希望	東京 LBC	1		5		1	16							23
6位	Terry Pott.	YC&AC	7		7			4							18
7位	江村健一	LB 東京					6			10					16
8位	黒澤俊晴	YC&AC	1		4		4	5							14
	伊藤重光	YC&AC	1		4		4	5							14
10位	安藤英昭	YC&AC	1		1		5	6							13

<関西地区ベスト10>

順位	氏名	所属	獲得ポイント内訳											合計	
			日本選手権大会						国際選手権大会						
			男 S	女 S	男 P	女 P	M T	M F	5 月	8 月	9 月	10 月	12 月		3 月
1位	合田洋子	学園ワイズ <sup>®</sup>		2			15		9					10	36
2位	森 紘一	学園ワイズ <sup>®</sup>	5		2		15	5						2	29
3位	小山 潤	LC 京都	6		15		4				1			2	28
4位	前林典子	神戸ホカズ <sup>®</sup>		11		13	2								26
5位	藤川辰美	学園ワイズ <sup>®</sup>	11		2		1	11							25
	田町智之	甲南 LB	1		15		9								25
	小山裕木恵	LC 京都		7		13	5								25
8位	坂本紘一	タッチヤーズ <sup>®</sup>			13			10							23
9位	八杉 瞳	兵庫車いす				5	1	11							17
	合田純二	学園ワイズ <sup>®</sup>					15							2	17

<全日本ベスト10>

順位	氏名	所属	獲得ポイント内訳												合計
			日本選手権大会						国際選手権大会						
			男 S	女 S	男 P	女 P	M T	M F	5 月	8 月	9 月	10 月	12 月	3 月	
1位	小林麻衣子	東京 LBC		5		16	1	16						18	56
2位	高山紗生	東京 LBC		4		16	1	10						18	49
3位	津山元子	YC&AC		11			5	4						18	38
4位	合田洋子	学園ワズ		2			15		9					10	36
5位	森 紘一	学園ワズ	5		2		15	5						2	29
6位	小山 潤	LC 京都	6		15		4				1			2	28
7位	前林典子	神戸ボウルズ		11		13	2								26
8位	藤川辰美	学園ワズ	11		2		1	11							25
	田町智之	甲南 LB	1		15		9								25
	小山裕木恵	LC 京都		7		13	5								25

(4) BJ 公認アンパイア資格認定制度

- 1) BJ 公認アンパイア資格については2年ごと更新および新規取得希望者の認定試験を実施することにしており、2023年度がそれにあたる。

関東および関西地区でそれぞれ次のように講習会および試験会を実施した。

地区	更新講習会（規則および計測実技）	新規認定試験会
関東	第1回日時： 2023年12月16日(土)10時-16時 会場：横浜市 YC&AC 講師：松原敬之（技術・競技部員） 受講者数：8名	日時：2024年3月 会場：横浜市 YC&AC ボウルズ場（実技テスト） 会議室（ペーパーテスト） 試験官： 受験者数：7名
	第2回日時： 2024年1月14日(日)10時-16時 会場：横浜市 YC&AC 講師：廣内鐵也（技術・競技部長） 受講者数：14名	
関西	第1回日時：2023年 7月15日(土)9時-12時 会場：神戸市しあわせの村 会議室（規則集解説） 講師：廣内、坂本、船引、藤川、森 受験者数：19名	日時：2024年2月11日(日) 13時-16時 会場：神戸市しあわせの村 ボウルズ場（実技テスト） 会議室（ペーパーテスト） 試験官：廣内、坂本、船引、森

第2回日時：2023年 10月9日（月・祝）9時-13時 会場：神戸市しあわせの村 ボウルズ場（計測実技） 会議室（メンジャーの心得） 講師：廣内、坂本、船引、藤川 受験者数：19名	受験者数：4名
---	---------

上記の結果、2024/2025年度のBJ公認アンパイアは次表の通りとなる。

地区	BJ公認アンパイア氏名、所属	
	資格更新者	資格新規取得者
関東 (17名)	(LB東京)黒沢秀行 (YLBC)依田成史 (東京LBC)松原敬之、松原和子、 田中希望 (YC&AC)伊藤重光、新井俊顕、津山元子 小島弘子、佐々木佑子、石黒陽子	(東京LBC)高山紗生、小林麻衣子 (LB東京)松本幸雄、平井真理子 (YC&AC)梅田和彦、安藤英昭
関西 (15名)	(学園ワイズ)森 紘一、藤川辰美 (神戸タッチャーズ)坂本紘一、野上哲男、 野上京子 (個人会員)船引啓吾 (LB高知)川本真浩 (LC京都)廣内鐵也、吉中康子 (ALBC)長島俊和、関口 溜 (村人クラブ)林 嘉雄	(神戸タッチャーズ)田中弘一、 緒方貴玄 (ALBC)小田 昌

- 2) 日本人でただ一人 World Bowls 認定の ITO(International Technical Official 国際審判員)資格の保有者である森 紘一氏(神戸学園都市ワイズクラブ所属)はその5年間の有効期限が来たので、2023年2月17日にマレーシア・イポー市ローンボウルズ場で開催された更新試験を受験し合格されて、更に今後5年間の有資格を認証された。この資格の認定試験は、アジア地区では原則として毎年2月から3月頃に、大きなローンボウルズ競技大会の開催に合わせて Bowls Asia の主催で開催されるので、日本からも積極的に受験し国内に第2、第3の ITO が生まれるのが望ましい。



## (5) 地方競技会の開催

### 1) 全般

- \* 日本選手権大会の他に、BJ加盟の各クラブ等が個々に主催している地方競技会がある。これらは、各クラブ単体あるいはクラブの連合体あるいは関東、関西LB協会が主催しているものであり、BJ本部もローンボウルズの普及促進という観点から後援という立場で競技方式の企画等において指導・支援という形で関与している場合が多い。

ただし、会計面については関東、関西LB協会あるいは主催クラブ等の自主独立採算としており、BJ本部は関与はしていない。

他の団体が主催元となっていてBJまたはその傘下協会が主管元として実施している大会では、運営費の一部を補助金として受けて実施しているものがあり、兵庫県生涯スポーツ連合が主催の「県民ふれあい大会（毎年11月に神戸市しあわせの村で開催）」、2017年度から参加開始した神戸市およびこうべ長寿祭推進協議会が主催の「こうべ長寿祭（毎年5月ないし6月に神戸市しあわせの村で開催）」、兵庫県ひょうご生涯スポーツ大会実行委員会が主催の「初級者ローンボウルズ大会（毎年9月ないし10月に神戸市しあわせの村で開催）」などがそれである。これらもその収支は地区協会の会計に取り込んでいる。これらはいずれも、収支が一致することを原則として、収益あるいは損失は出さないことを目標としている。

個別の競技大会の開催実績については、後のページの「関東および関西ローンボウルズ協会活動」において記載する。

- \* 実施日時：通期
- \* 実施場所：各地ローンボウルズグリーン
- \* 従事者の人数：毎回3人×60回=180人(スポット)
- \* 受益対象者の範囲および人数：約1,800人

## (6) ローンボウルズ人口拡大のための初心者体験教室等の開催

### 1) 明石公園グリーンにおける初心者体験教室

- \* ALBCクラブが企画・主催し毎月1回定期的に行っているものであり、指導員はBJ会員の有志が無償でつとめている。
- \* 実施日時：毎月1回第1土曜日
- \* 実施場所：明石公園グリーン
- \* 従事者の人数：4人(スポット的)
- \* 受益対象者の範囲および人数：一般市民不特定多数 毎回5名程度
- \* 支出金額：なし

- 2) 神戸市しあわせの村における健常者対象の初心者体験教室
- \* しあわせの村グリーンの指定管理者である保養センターひよどりが企画・主催し BJ 関西協会の会員の有志が基本的には無償で協力しているものである。
  - \* 実施日時：今期は、春と秋に各 1 回を実施の予定であったが、  
6 月は応募者が無くて中止となり、  
10 月 15 日（日）13:00 – 15:00 のみの開催となった。
  - \* 実施場所：しあわせの村グリーン
  - \* 従事者の人数：5 人(スポット的)
  - \* 受益対象者の範囲および人数：秋は一般市民約 5 名が参加。
  - \* 支出金額：なし
- 3) 神戸市しあわせの村における障がい者対象の初心者体験教室
- \* 神戸市障害者スポーツ協会が企画・主催し、兵庫車椅子クラブが  
基本的には無償で協力しているものである。（詳細は 18 ページ参照）
- 4) 神戸市西区玉津リハビリセンターにおける障がい者ローンボウルズ普及講習会
- \* 玉津リハビリセンターが体育館内にカーペットの 2 リンクを設置し、月に  
1、2 回程度 希望者を対象として普及講習会を開催している。兵庫車椅子  
クラブの会員が無償で指導の協力をしている。
- 5) 高知県インクルーシブ・フットボールフェスティバルでローンボウルズ体験教室を開催
- \* 主催：(一般社団法人) 高知県サッカー協会
  - \* 協力：NPO 法人日本ブラインドサッカー協会  
認定 NPO 法人ローンボウルズ日本
  - \* 協賛：こうち生協ほか
  - \* 実施日時：令和 5 年 7 月 1 日（土）10:00～16:30
  - \* 実施場所：高知県高知市東部総合運動多目的ドーム（しらすぎドーム）
  - \* 従事者の人数：LB 高知 UC から川本代表を含めて 4 名、  
兵庫車いすクラブから児島代表を含めて 3 名 合計 7 名
  - \* 受益対象者の範囲および人数：一般市民約 150 名が来場
  - \* 支出金額：なし
- 6) 神戸市垂水区役所主催の「スポーツの日体験会」にてローンボウルズ体験教室を開催
- \* 実施日時：令和 5 年 10 月 14 日（土）10:00～15:00
  - \* 実施場所：神戸市垂水区「垂水スポーツガーデン」
  - \* 従事者の人数：関西 LB 協会から運営スタッフ 5 名派遣
  - \* 受益対象者の範囲および人数：一般市民 87 名が来場
  - \* 支出金額：なし

- 7) 東京都あきるの市主催のスポーツ体験会にてローンボウルズ体験教室を開催
- \* 委託主催：TEAM BEYOND
  - \* 実施日時：令和5年11月11日（土）、12日（日）10:00～17:00
  - \* 実施場所：東京都あきるの市 都立秋留台公園陸上競技場
  - \* 従事者の人数：関東LB協会から運営スタッフ4名  
(東京LBCの松原敬之、松原和子、田中希望ら)を派遣
  - \* 受益対象者の範囲および人数：一般市民約380名が来場
  - \* 支出金額：なし
- 8) 兵庫県生涯スポーツ連合主催第24回県民ふれあい大会にて体験教室を開催
- \* 実施日時：令和5年11月26日（日）10時～16時
  - \* 実施場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン
  - \* 従事者の人数：BJ関西LB協会有志5名
  - \* 受益対象者の範囲および人数：一般市民約20名が来訪
  - \* 支出金額：なし
- 9) 滋賀県大津市比叡平地区にて第1回アンフィニ杯ローンボウルズ体験大会を開催
- \* 共催：株式会社アンフィニおよび山中比叡平まちづくり協議会
  - \* 実施日時：令和5年12月17日（木）10:00～17:00
  - \* 実施場所：滋賀県大津市比叡平地区陸上競技場
  - \* 従事者の人数：LC京都から小山代表ほか数名
  - \* 受益対象者の範囲および人数：一般市民（若者）約30名が参加
  - \* 支出金額：なし。なお、使用したボウルはBJ会員から無償で寄付していただいたものである。
- 10) 10年後のオリンピック大会（オーストラリア・ブリスベン）のローンボウルズ種目に明石公園から代表選手を派遣することを目指す「ジュニア・ローンボウルズ教室」を継続中。令和4年11月20日（日）に開講して、今年で2年目に入った。
- \* 実施日時：毎月1回 日曜日の9:30～12:00に開催  
今年度の実績は、2023年4/30, 5/21, 6/18, 7/16, 8/27, 9/24, 10/22, 11/19, 12/17, 2024年1/21, 2/18, 3/17
  - \* 実施場所：明石公園ローンボウルズ場（詰所で座学、グリーンで実技）
  - \* 主催者など：主催 BJ、主管 明石市LB協会  
後援 明石市教育委員会、兵庫県園芸・公園協会
  - \* 従事者の人数：明石市LB協会会員7名が運営および指導員として従事
  - \* 受益対象者の範囲および人数：第1期の受講者は9名  
(小学生4名、中学生4名、高校生1名)
  - \* 支出金額：受講料一人200円/月 の収入範囲内で運営

## (7) 技術普及・向上講習会などの開催

### 1) 技術・競技部主催の関東および関西地区アンパイアー・マーカ―研修会の開催

詳細は 14,15 ページを参照

### 2) 関西地区レベルアップ講習会の開催

主催：BJ 技術・競技部

目的：BJ 会員の競技力アップに向け、指導手法や練習の進め方などについて統一的に学び、ここで体験した情報や手法を各クラブで実践して総体的なレベルアップに結び付ける。

日時：令和 6 年 3 月 24 日(日) 9:30～16:00

場所：神戸市しあわせの村ひよどり会議室&ローンボウルズグリーン

講師：小山 潤 (BJ 技術・競技部部員)

参加者：関西地区希望者 30 名

実施内容：

9:30～10:30 ・戦略、戦術、ポジションの役割

・基本的なマナー

・レベルアップに効果的な練習メニューの紹介

10:30～12:00 サーキットトレーニング<sup>®</sup>の実施(実戦用のドリル実習)

12:00～13:00 休憩 (各自昼食)

13:00～16:00 午前に学んだ体験を実戦に生かす 8 エンドゲーム 2 試合を行う。

## (8) 「強化対象選手」制度の運用

当法人の会員制度としては明確に定義し区分しているものではないが、内状として「エンジョイ型ボウラー」と「競技指向型ボウラー」の 2 パターンが存在するのは事実である。前者は、健康増進・余暇の有効活用・親睦交流等を主目的としてローンボウルズをエンジョイすることで満足している会員であり、後者はそれだけでは飽き足らずに、競技大会に積極的に出場し上位入賞を目標として日頃の練習を熱心に取り組む会員であり、最終的には日本代表選手として国際的な選手権大会にも出場しようとする選手である。当法人としては、その両者を平等に価値ある者とし、前者は「ローンボウルズという生涯スポーツの山の裾野を広げるために大切な会員」とし、後者は「ローンボウルズという競技スポーツの山の高さを高くするために大切な会員」として拡充・増強を図ろうとしている。

2021 年度から、初めて後者に対する強化訓練制度の端緒となるプログラムを、オーストラリアにおけるトレーニング方法を参考にしながらキックオフさせた。2022 年度は、2023 年 2 月のアジア選手権大会 (マレーシア・イポー) および 2023 年 8 月の世界選手権大会 (オーストラリア・ゴールドコースト) での入賞を具体

的な目標として、「強化対象選手」を公募・選考し強化訓練を開始した。

2022年度は、この強化訓練プログラム実施を義務とする「強化対象選手」の中から上記2大会への出場選手を選考するというやり方を採用したが、会員の中から「諸般の事情により強化訓練プログラム実施に参加困難な人もいる。強化訓練に参加しなくても自主努力で大会出場にふさわしい競技力を備えた選手の輩出はあり得るので、選手選考条件にはこれは含めるべきではない。」との意見が出され、理事会で審議した結果、2023年度は強化訓練プログラムは統一的に実施するのではなく、各個人または各クラブにおいて自主的に実施するという事になった。

従って、2023年度としての強化訓練プログラム実施実績の把握はやや乏しいが組織的な実施例としては次の通りである。

\* 関西地区強化訓練プログラム合同練習会 開催

主催：BJ 技術・競技部

日時：令和5年11月19日(日) 9:00～16:00

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

参加者：関西地区希望者 25名

実施内容：AM ドリル (40 ボウルズ、ウエイトコントロール、ジャック&ボウルズ)

PM エリミネーターおよび練習ゲームを実施

\* 2024年3月アジア大会出場選手団 強化訓練プログラム実施 (第1回)

主催： 同上 選手選考委員会

日時：令和6年1月8日(月) 19:00～21:00

場所：zoom 会議にて

参加者：選手 11名

実施内容 (座学)：

1. 目標設定：予選ラウンド2位以内で決勝トーナメント進出目標とする。
2. ポジション別役割と必要スキルの練習方法について
3. メンタル・タフネス向上について
4. 国際大会でのマナー、エチケットについて
5. 大会会場 (パタヤの新設天然芝グリーン) についての情報共有

\* 2024年3月アジア大会出場選手団 強化訓練プログラム実施 (第2回)

主催： 同上 選手選考委員会

日時：令和6年1月28日(月) 10:00～15:00

場所：神戸市しあわせの村グリーン

参加者：選手7名、競技パートナー3名

実施内容 (実技)：

午前中 サーキット・トレーニング (6種のドリルを一人あたり4回ずつ実施し、ポイント・データを取る)

午後 実戦ゲーム (2ボウルズ・ペアーズ, 2ボウルズ・トリプルズ)

\* 2024年3月アジア大会出場選手団 強化訓練プログラム実施 (第3回)

主催: 同上 選手選考委員会

日時: 令和6年2月10日(土) 10:00~15:00

11日(日) 10:00~15:00

場所: 神戸市しあわせの村グリーン

参加者: 選手10名、競技パートナー3名

実施内容 (実技):

午前中 サーキット・トレーニング (6種のドリルを一人あたり4回ずつ実施し、ポイント・データを取る)

午後 実戦ゲーム (2ボウルズ・フォアズ, 2ボウルズ・トリプルズ)

\* 2024年3月アジア大会出場選手団 強化訓練プログラム実施 (第4回)

主催: 同上 選手選考委員会

日時: 令和6年2月25日(日) 10:00~15:00

場所: 神戸市しあわせの村グリーン

参加者: 選手7名、競技パートナー3名

実施内容 (実技):

午前中 サーキット・トレーニング (6種のドリルを一人あたり4回ずつ実施し、ポイント・データを取る)

午後 実戦ゲーム (4ボウルズ・シングルス, 2ボウルズ・フォアーズ)

## (9) 障がい者ローンボウルズ普及活動

- 1) 令和5(2023)年度日本パラスポーツ協会、日本パラスポーツ委員会関連の活動実績  
今年度は次の通りの活動実績となった。世界選手権大会への選手派遣事業が入ったために、助成金額は従来より倍増に近くなった。

- ① 令和5年4月11日付けで令和5年度日本パラスポーツ協会加盟分担金10万円を振り込み
- ② 令和5年4月18日付けで令和5年度(社法)日本スポーツフェアネス推進機構加盟分担金3万円を振り込み
- ③ 令和5年5月24日付けで令和5年度JPC競技力向上事業補助金(概算払い)305万円を受け取り
- ④ 令和5年5月24日付けで令和4年度JPC競技力向上事業補助金(清算払い)

93.8 万円を受け取り

- ⑤ 令和 5 年 6 月 7 日付けで (公財) 日本アンチドーピング機構年会費 5 万円を振り込み
- ⑥ 令和 5 年 6 月 7 日～6 月 9 日  
国内強化合宿 (第 1 回) 小野八ヶ池自然公園多目的ドーム  
13 名参加 支出経費 45.1 万円
- ⑦ 令和 5 年 7 月 4 日～7 月 6 日  
国内強化合宿 (第 2 回) 小野八ヶ池自然公園多目的ドーム  
12 名参加 支出経費 41.6 万円
- ⑧ 令和 5 年 7 月 7 日～7 月 9 日  
JADA 研修会参加 東京  
1 名参加 支出経費 7 万円
- ⑨ 令和 5 年 8 月 11 日  
アンチドーピング講習会開催 神戸市しあわせの村  
21 名参加 支出経費 2.1 万円
- ⑩ 令和 5 年 8 月 25 日 (水) ～9 月 5 日  
世界選手権大会にチーム派遣 オーストラリア・ゴールドコースト  
6 名参加 支出経費 261.8 万円
- ⑪ 令和 5 年 ～10 月 31 日  
強化対象選手メデイカルチェック  
8 名実施 支出経費 7.1 万円
- ⑫ 令和 5 年 12 月 14 日～16 日  
日韓合同強化合宿 神戸市しあわせの村  
21 名参加 支出経費 37.8 万円
- ⑬ 令和 6 年 2 月 7 日～9 日  
国内強化合宿 (第 3 回) 小野八ヶ池自然公園多目的ドーム  
12 名参加(予定) 支出経費 25 万円 (予定)

## 2) 当法人としての障がい者ローンボウルズ普及活動実績

- ① 神戸市西区玉津リハビリセンターにおける障がい者ローンボウルズ普及講習会
  - \* 玉津リハビリセンターが体育館内にカーペットの 2 リンクを設置し、月に 3、4 回程度 希望者を対象として普及講習会を開催している。兵庫車椅子クラブの会員が無償で指導の協力をしている。
  - \* 実施日時：毎回火曜日の 13:00～16:00 の約 3 時間
  - \* 実施場所：神戸市西区玉津 障がい者スポーツ交流館体育館
  - \* 従事者の人数：5 人(スポット的)

- \* 受益対象者の範囲および人数：リハビリセンター利用者その他毎回約 10 名
- \* 支出金額：なし

② 神戸市しあわせの村における障害者対象の初心者体験教室

- \* 神戸市障害者スポーツ協会が企画・主催し、兵庫車椅子クラブが基本的には無償で協力しているものである。

実施日時：6回 毎回 13:00～16:00 にて実施。

令和 5 年 5 月 14 日（日）、5 月 21 日（日）、5 月 27 日（土）

9 月 17 日（日）、9 月 24 日（日）、9 月 30 日（土）

- \* 実施場所：しあわせの村グリーン
- \* 従事者の人数：8 人(スポット的)
- \* 受益対象者の範囲および人数：毎回 20 名程度
- \* 支出金額：なし

③ 障がい者ファミリーローンボウルズ大会（藤原杯争奪戦）開催

- \* 実施日時：令和 5 年 7 月 23 日（日）9 時～17 時
- \* 実施場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン
- \* 従事者の人数：兵庫車椅子クラブから 3 人(スポット的)
- \* 受益対象者の範囲および人数：3 人/チーム×8 チーム=24 人
- \* 種目：オープン・トリプルズ戦 Δ=総得失点差

順位	選手名	成績
1 位	村井都雅夫、井上千加子、坂本紘一	3 勝 0 敗
2 位	久保敏隆、島 美里、田中まち子	2 勝 1 敗, Δ=+13
3 位	松本節子、植松寿子、児玉智子	2 勝 1 敗, Δ=+6

- \* 支出金額：なし（徴収参加費の範囲内で実施）

④ 全日本障がい者選手権大会開催

- \* 実施日時：令和 5 年 10 月 8 日（日）9 時～17 時
- \* 実施場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン
- \* 従事者の人数：兵庫車椅子クラブから 3 人(スポット的)
- \* 受益対象者の範囲および人数：出場選手 7 人
- \* 種目：オープン・シングルス戦

午後から雨となったため、予選ラウンドだけで中止とした。

Δ=総得失点差

	予選 A グループ		予選 B グループ	
	選手名	成績	選手名	成績
1 位	澤田昭雄	2 勝 1 敗, Δ=+1	川村信子	3 勝 0 敗
2 位	木村和暉	2 勝 1 敗, Δ=0	松本節子	2 勝 1 敗



3位	児島久雄	1勝2敗, Δ=+2	村井都雅夫	1勝2敗
4位	溝口満輝	1勝2敗, Δ=-3	(欠場)	0勝3敗

\* 支出金額：なし（徴収参加費の範囲内で実施）

⑤ パラ王国 Hyogo & Kobe 夢プロジェクト 2023 においてボウルズ体験会を開催

\* 主催者：神戸市障がい者スポーツ振興センター

\* 協力：BJ 障がい者ローンボウルズ部

\* 実施日時：令和5年11月3日（水）10時～16時

\* 実施場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズ場全リンクを使用

\* 従事者の人数：兵庫車椅子クラブから10人（スポット的）

\* 受益対象者の範囲および人数：参加者総数約50名（一般市民）

\* 支出金額：なし

⑥ 障がい者ローンボウルズ体験会 開催

\* 主催者：関西広域連合 観光・文化・スポーツ振興局

\* 主管（委託）：認定NPO法人ローンボウルズ日本 障がい者ローンボウルズ部

\* 実施日時：令和5年11月23日（祭）9:00～16:30

\* 実施場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズ場

\* 実施内容：10:00～12:00 「40ボウルズ」体験練習  
13:00～16:00 ゲーム実戦練習

\* 参加者：障がい者10名、健常者7名、運営スタッフ9名 合計26名

\* 従事者の人数：兵庫車椅子クラブから10人（スポット的）

\* 支出金額：なし（委託料の範囲内で実施）

(10) 用具・物品購入の斡旋

\* ローンボウルズ用具（主としてボウル、ボウルケース、メジャー、ワックス、シューズなど）は日本国内になくオーストラリア、イギリスなどからの輸入になる。代理店契約していた会社が撤退したりしてローンボウルズ愛好者や団体、学校などが用具購入に難を感ずることがあったため、BJ会員の山田誠さん（神戸ボウルズ）がテラー社（イギリス）との代理店契約を結び、小山裕木恵さん（LC京都）がヘンゼライト社（オーストラリア）との代理店契約締結を進め、個人の用具購入希望者からの利用に対応している。

BJとしては、地方公共団体や学校などからの引き合いに対しては認定NPO法人ローンボウルズ日本が契約当事者となり、それ以外の個人取引については両氏と当事者との直接取引としBJとしては関与しないことを原則とした。今期は団体、学校などへの斡旋事例はなかった。

また、これとは別に主として海外大会に出場する日本代表選手等の交換用みやげとしてBJ会員ピンバッジ、BJ名前入りボールペン等を単価200～300

円で仕入れて在庫している。これらは希望者にはほとんど原価のまま販売もしている。適正在庫がなくなった時点で随時に在庫補充をしている。

- \* 実施日時：通期
- \* 実施場所：全国
- \* 従事者の人数：2人(スポット)
- \* 受益対象者の範囲および人数：個人的に用具斡旋を受けた者 約5名
- \* 支出金額：今期の仕入れ実績はなし

## (11) 組織の強化・充実

### 1) 上部団体との連携強化

#### \* 公益財団法人日本レクリエーション協会関係

令和5年度日本レクリエーション協会加盟団体代表者会議

日時：12月6日(水)13:00-18:10

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟101,401号  
(〒151 0052 渋谷区代々木神園町3番1号)

出席者：例年関東LB協会から出席者を送っているが、今年は都合がつけられず欠席とし、後日に会議資料だけを受領。

内容：日本レクリエーション協会の令和6年度活動基本方針および重点施策について等

#### \* 公益財団法人日本パラスポーツ協会および日本パラリンピック委員会関係

令和5年度JPC加盟競技団体会議に出席

主催：(公財)日本パラスポーツ協会

日時：令和6年2月16日(金)14:00-17:00

開催場所：ZOOM WEB会議

出席者：森会長、児島理事長

内容：令和5年度事業報告(案)、令和6年度事業計画(案)を協議

#### \* JADA(公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構)関係

①令和5年度アンチ・ドーピング教育研修会を実施。

日時：令和5年8月11日(金)13:00-16:00

場所：しあわせの村ひよどり会議室

講師：浅田圭一氏(JADA承認クリーンスポーツ Educator、スポーツファーマシスト)

(注)浅田圭一氏は神戸市内の薬局勤務の薬剤師であるが、スポーツファーマシストの資格を保有されており、当法人の「アンチ・ドーピング委員会」委員を務めていただいている。今年度のJADAの承認クリーンスポーツ Educator 養成講習・試験を終了されて正式に承認クリーンスポーツ Educator

資格を習得された。今後、当法人内のアンチ・ドーピング教育研修会講師をもずっと務めていただくことになる。

②令和5年度第2回アンチ・ドーピング教育会議に参加

令和5年11月28日にオンデマンドで児島理事長、澤田障がい者LB部副部長、森総務部副部長の3名が視聴

③令和5年12月11日に、日本アンチ・ドーピング機構 教育部あてに令和6年度アンチ・ドーピング年間教育計画書を提出。

**\* JSC (独立行政法人 日本スポーツ振興センター) 関係**

① 令和5年度は特に助成金申請の関係も無く、折衝事項等も特になかった。

**\* IOC (公益財団法人 日本オリンピック委員会) 関係**

令和4年度から加盟するべく令和3年の年初から申請書を提出して折衝してきていたが、1年以上経過した今年度初頭に先方事務局から「加盟承認は困難」の事務連絡を得たので申請書は撤回した。困難の理由としては、1. IOCにおいてもWBがまだ加盟承認されていない。2. 国内組織としても他スポーツに比較して小規模である。等が推察される。

**\* BA (アジア・ローンボウルズ連盟) 関係**

①2023年度第1回BA理事会に出席

日時：令和5年6月12日(金) 16:00-17:30

場所：zoom会議にて

出席者：森 紘一(松岡国際部長代理として)

②2023年度第2回BA理事会に出席

日時：令和6年1月18日(金) 16:00-18:00

場所：zoom会議にて

出席者：松岡 緑 国際部長

③2023年度第3回BA理事会に出席

日時：令和6年3月9日(土) 16:00-18:00

場所：タイ・パタヤ(アジア選手権大会会場にて)

出席者：松岡 緑 国際部長

**\* IBD (国際障がい者ローンボウルズ連盟) 関係**

8月のWorld Bowls世界選手権大会に出場する溝口満輝選手および10月のアジア・パラ競技大会に出場する松本節子選手の2名についての障がい程度クラス分け(classification)をIBDのClassifierのお世話になり、(いずれも大会会場にて)無事にクラス分け認証照明を受領した。

**\* WB（世界ローンボウルズ連盟）関係**

①2023 年度 WB 年次総会に出席

日時：令和 5 年 9 月 4 日（金）9:00-13:30

場所：オーストラリア・クイーンズランド州ロビーナ

（世界選手権大会会場）にて

出席者：松岡 緑 国際部長

出席国数：26 か国（アジアからは日本を含めて 8 か国）および  
リモートで参加が 7 か国

主要議題：

1. 前回議事録の承認
2. 2022 年 1/1-12/31 会計決算報告書の承認
3. 2023 年度の主要活動状況の報告
  - 1) WB 本部が英国からオーストラリアに移動し、新本部での活動を確立中（スタッフの増強など）
  - 2) WB 新戦略プラン（2023-2025 の 3 年計画）を推進中
  - 3) WB 新憲法確定のための見直し作業中
  - 4) 他団体：IBD（世界障がい者ボウルズ連盟）、PBA（アジア障がい者ボウルズ連盟）、IIBC（世界インドア・ボウルズ協会）、WSMBC（世界ショートマット・ボウルズ協会）との協働、統合の推進
  - 5) IOC（国際オリンピック委員会）、IPC（国際パラリンピック委員会）への加盟承認に向けての働きかけ

2) 総会、理事会の開催

\*2023/2024 年度の来田会長、児島理事長、松原副理事長、吉中副理事長体制の初年度の活動となった。新型コロナウイルスも一段落し、BJ 事業活動もほぼ元通りに戻った年となった。コロナ感染対策をきっかけとして始めた zoom によるリモート会議の運用もほぼ定着し、毎月 1 回の理事連絡会による各理事間のコミュニケーションの緊密化も徐々に効果を発揮してきている。

**令和 5 年 4 月 9 日（土）14:45-17:30 ZOOM WEB 会議にて**

定期総会：定足数 15 名 出席 14 名＋委任状提出 1 名＝合計 15 名

定足数の過半数の出席により議決は成立。

第 1 号議案 令和 4 (2022) 年度事業結果報告書および決算報告書を承認

第 2 号議案 令和 5 (2023) 年度事業計画書および予算計画書を承認

第 3 号議案 役員（監事、理事）の異動を承認

2022 年度の役員候補者推薦委員会（森会長、児島理事長、合田副

理事長、坂本監事で構成。議長は森会長。)から 2023 年度および 2024 年度の監事、理事の退任、就任、重任について、下表に示すとおりの推薦案が説明され、ほかに自薦、他薦の候補者が無いかを総会に求めた。ほかに立候補者が出されなかったため、総会として採決の結果 全員について異議無く承認・決定された。

理事

No.	氏名	内訳	記事
1	松原敬之	重任	東京ローンボウリングクラブ
2	高山紗生	新任	東京ローンボウリングクラブ
3	松原和子	退任	任期満了により退任(東京 LBC)
4	黒沢秀行	重任	ローンボウルズ東京
5	村瀬 康	新任	ヨコハマ・ローンボウルズ・クラブ
6	依田成史	退任	任期満了により退任(YLBC)
7	安藤英昭	新任	YC&AC
8	津山元子	新任	YC&AC
9	アレックス・ヘンディ	退任	任期満了により退任(YC&AC)
10	安田加津子	退任	任期満了により退任(YC&AC)
11	小林信芳	重任	日栄スポーツ
12	前林典子	新任	神戸ボウルズ
13	山田 誠	退任	任期満了により退任(神戸ボウルズ)
14	児島久雄	重任	兵庫車椅子ローンボウルズクラブ
15	スーザン・ヤップ	重任	兵庫車椅子ローンボウルズクラブ
16	藤川辰美	新任	神戸学園都市ワイズメンズクラブ
17	合田洋子	新任	神戸学園都市ワイズメンズクラブ
18	合田純二	退任	任期満了により退任(学園ワイズ)
19	森 紘一	退任	任期満了により退任(学園ワイズ)
20	田中弘一	新任	神戸タッチャーズ
21	井上千加子	新任	神戸タッチャーズ
22	竹内義治	退任	任期満了により退任(神戸タッチャーズ)
23	宮崎宗久	退任	任期満了により退任(神戸タッチャーズ)
24	関口 溜	新任	ALBC クラブ
25	小林綾子	新任	ALBC クラブ
26	旭 吉功	退任	任期満了により退任(ALBC クラブ)
27	長島俊和	退任	任期満了により退任(ALBC クラブ)
28	倉本宜史	重任	甲南ローンボアーズ

29	川本真浩	新任	ローンボウルズ高知 UC
30	松浦美月	退任	任期満了により退任(LB 高知 UC)
31	吉中康子	重任	ローンボウルズクラブ京都
32	廣内鐵也	新任	ローンボウルズクラブ京都
33	小山 潤	退任	任期満了により退任(LC 京都京都)
34	松岡 緑	重任	オーストラリアクラブ
35	來田享子	重任	外部理事(中京大学教授)
36	田原淳子	重任	外部理事(国士舘大学教授)
37	山口由美	重任	外部理事(神戸市市会議員)
38	野口善國	重任	外部理事(弁護士)

監事

No.	担当	氏名	内訳	記事
1	行政担当	依田成史	新任	ヨコハマ・ローンボウルズ・クラブ
2	行政担当	坂本紘一	退任	任期満了により退任(神戸タッチャーズ)
3	財政担当	佐古安弘	重任	

第1回定期理事会：定足数 25 名 出席 17 名＋委任状提出 5 名＝合計 22 名

定足数の全員の出席により議決は成立。

第1号議案 2023/2024 年度役員(会長、理事長、副理事長)を選任

会長 來田享子(新任)  
 理事長(代表理事) 児島久雄(重任)  
 副理事長 松原敬之(新任)、吉中康子(新任)

第2号議案 2023/2024 年度事務局職員および顧問を選任

事務局職員 事務局長 藤川辰美(重任) 学園ワイズ  
 会計 竹内義治(重任) タッチャーズ  
 会計 田中弘一(新任) タッチャーズ  
 顧問 岸口 実(重任) 兵庫県会議員  
 山田 誠(新任) 元理事長・会長

第3号議案 2023/2024 年度各専門部部長および部員を選任

専門部名	部長、副部長	部員
総務部	部長：藤川辰美(新任) 副部長：森 紘一(元部長)	伊藤重光 田中弘一、竹内義治
広報部	部長：吉中康子(新任) 副部長：前林典子(新任)	津山元子、梅田和彦 山田 誠、大平貴士 アラン・マーゼリソン

次世代開発部 (新設)	吉中康子、松原敬之 関口 溜、合田洋子 (全員が新任)	黒沢秀行、村瀬 康 小林信芳、高山紗生 川本真浩、倉本宣史 井上千加子、小林綾子
技術・競技部	部長：廣内鐵也 (新任) 副部長：坂本紘一 (元部長)	安藤英昭、小山 潤 船引啓吾、川阪泰夫 中田照男
国際部	部長：松岡 緑 (重任) 副部長：合田純二 (元部長)	江村健一、三木 卓 スティーブ・ウェッジ
障がい者 LB 部	部長：児島久雄 (重任) 副部長：澤田昭雄 (重任)	スーザン・ヤップ 植松博至、八杉 瞳

第4号議案 「2024年アジア大会(タイ)および2025年世界大会」の選手選考委員会メンバー選任の件

原案について異議の意見が出たため継続審議となった。  
「選手選考委員会規程」を制定した上で、これに沿って  
選考することとした。

令和5年8月13日(日)13:00-17:00 ZOOM WEB 会議にて

第2回定期理事会：定足数25名 出席16名+委任状提出5名=合計21名  
定足数の過半数の出席により議決は成立。

第1号議案 「選手選考委員会規程(案)」の承認の件

採決の結果は原案に賛成13票、反対16票、棄権2票となった。  
議長判断により、原案について再度見直しをした上で臨時理事会を招集し、最終決着をはかることにした。

第2号議案 2024年度日本選手権大会計画(案)の承認の件

詳細事項についていくつかの意見がだされたが、種目・日程・会場  
については原案通りで承認し、準備を進めることで決定した。

第3号議案 情報共有事項

- (1) アジアローンボウルズ連盟の新役員および連盟憲法改定の動き  
について
- (2) 広報部としてローンボウルズ PR 用動画の作成および SNS に  
公開する計画について
- (3) オーストラリア GBS 社による日本国内にローンボウルズ施設を  
新設する投資計画が撤退を決定したという報告

## 令和5年6月25日(日) Eメールによる臨時理事会

定足数 25名 有効回答者数 21名、棄権者数 4名

定足数の過半数の出席により議決は成立。

議案 2023年度BJ 2023年度BJ強化・訓練プログラム参加参加を、国際大会(2023年3月のアジア選手権大会)参加応募条件として義務化するという現方針に賛成するか反対するかについての審議

投票結果 義務化に賛成 4票  
義務化に反対 15票  
中立 2票

結論 多数決により、「2023年度BJ強化・訓練プログラム参加」は義務化とはせず、各クラブの実態に合わせた自由な方法でプログラムの導入をはかっていく事が結論とされた。

補足であるが、2022年度では国際大会で勝つためには組織的な強化訓練を出場志望選手には必須と課すべきということで一旦は決定したが、クラブの諸事情によりどうしても強化・訓練プログラムを定められた通りには実施できない者がいることも浮きぼりにされてきて、そのために国際大会参加の機会が奪われる者が出ることは好ましくなからうという意見に賛同する理事が増えた、というのが今回の投票結果になった事情である。

## 令和5年9月30日(土)20:00-22:00 臨時理事会 ZOOM WEB会議にて

定足数 25名 出席 13名+委任状提出 5名=合計 18名

定足数の過半数の出席により議決は成立。

第1号議案 「選手選考委員会規程(案)」の承認の件

一部の文言の修正を加えて10月1日から施行することが賛成過半数で可決された。但し、何か不具合があるとの意見が出た場合は随時すみやかに更なる改訂を審議することにした。

第2号議案 2024年3月アジア選手権大会派遣選手選考基準(案)の承認の件

5月に選任された次の7名の選手選考委員会(委員長:廣内鐵也、副委員長:松岡 緑、委員:松原敬之、アレックス・ヘンディ、前林典子、小山潤、合田純二)の提案による①から⑤までの5項目からなる選考基準(案)について審議の結果、④項の文章から「将来性」の語句を削除することで、原案が承認・決定された。

なお補足であるが、今回はアジア連盟から正式の大会募集案



内が出されてから選手名のエントリーまでの期間が2か月しかないという短期間であったため、懸案のポイント制の導入については成案がまとまらず採用しないことにしたという事情もある。

第3号議案 「当法人の運営上のガバナンス視点からの監事報告」の件  
依田監事から、監査の結果は特に重大な瑕疵は認められないが関東・関西の全理事が相互理解・協力して業務執行にあたりより透明性。説明責任、結果重視を維持して運営するべし、との報告がなされ、理事会として了解した。

第4号議案 情報共有事項

(1) ワールドボウルズ年次総会出席報告（国際部長より）

令和5年12月17日(日)13:00-16:00 第3回定期理事会 ZOOM WEB会議にて

定足数 25名 出席 17名 + 委任状提出 3名 = 合計 20名

定足数の過半数の出席により議決は成立。

第1号議案 2023年度会計中間報告の承認の件

異議無く承認された。

第2号議案 2024年度事業計画(案)の承認の件

これから3か月間で各専門部長などから具体的な事業計画を提出していただいてまとめると言う事で承認された。

第3号議案 ガバナンスコード適合性審査(第2回目)対応関連事項の審議・承認の件

(1) 理事在任期間上限10年を定款に追記する定款改訂の件  
全員一致で改訂を就任

(2) コンプライアンス委員長、副委員長の改選の件

来田享子（理事、会長）を委員長

依田成史（監事）を副委員長

とすることを全員一致で承認。

なお、当人も了承済み。

(3) 次期（2025-2029年度）5か年事業計画の策定体制の件  
プロジェクトチームを編成して、2024年度中に策定完了することを承認・決定された。

プロジェクトチーム・メンバーは幾人かの推薦候補者名が出されたが、これだけでは不足であるので追って理事長、副理事長から追加指名することとなった。

令和6年4月20日(土)13:00-14:00 第4回定期理事会 ZOOM WEB 会議にて

定足数 25 名 出席 18 名 + 委任状提出 2 名 = 合計 20 名

定足数の過半数の出席により議決は成立。

第1号議案 令和5(2023)年度事業結果報告書および決算報告書を承認  
事業結果報告書には一部の訂正および追記があった。

第2号議案 令和6(2024)年度事業計画書および予算計画書を承認  
事業計画書には一部の訂正および追記があった。

令和6年4月20日(土)14:30-15:30 定期総会 ZOOM WEB 会議にて

定足数 15 名 出席 13 名 + 委任状提出 1 名 = 合計 14 名

定足数の過半数の出席により議決は成立。

第1号議案 令和5(2023)年度事業結果報告書および決算報告書を承認

第2号議案 令和6(2024)年度事業計画書および予算計画書を承認

第3号議案 理事の途中交替について、次のとおりに任期途中での理事交替の要請があり、全員一致で承認された。なお副理事長等の役職の変更はなし。任期は前任者の残期間の1年間となる。

退任	黒沢秀行 (LB 東京 所属) 小林信芳 (日栄 LB 所属) 安藤英昭 (YC&AC 所属) スーザン・ヤップ (兵庫車いす 所属)
新任	平井真理子 (LB 東京 所属) 小林麻衣子 (東京 LBC 所属) 石黒譲治 (YC&AC 所属) 八杉 瞳 (兵庫車いす 所属)

なお、クラブ代表は 東京 LBC 代表 高山紗生、  
日栄 LB 代表 松原敬之 と変更になった。

3) 定期理事連絡会の開催

- \* 理事間の情報共有を密にし、組織力をアップすることを目的として、2021年度から毎月1回の理事連絡会を zoom によるリモート会議方式で開催するようにし、今年度も継続した。

令和5年5月20日(土)20:00-22:00 第1回連絡会 ZOOM WEB 会議 (出席 22 名)

討議テーマ : 1. 各理事の自己紹介および近況報告

2. 「広報部」、「次世代開発部」の進め方についての意見交換

3. 2024 アジア大会、2025 世界大会の出場選手選考委員7名の氏名発表と、今後の作業スケジュールの報告

4. 明石公園グリーン改修の嘆願署名運動への協力依頼

令和5年6月24日(土)20:00-22:00 第2回連絡会 ZOOM WEB 会議 (出席 18名)

討議テーマ：6月12日付で関東地区理事から提出された「2023年度BJ強化訓練プログラムおよび2024年3月タイで開催のアジア選手権大会日本代表選手選考プロセスに関する問題提起と代替案の提案書」についての意見交換

令和5年7月15日(土)20:00-22:00 第3回連絡会 ZOOM WEB 会議 (出席 16名)

討議テーマ：総務部作成の「国際大会出場選手選考委員会規程(案)」についての意見交換

令和5年11月10日(土)20:00-21:30 第4回連絡会 ZOOM WEB 会議 (出席 15名)

討議テーマ：1. ガバナンスコード適合性審査第2回目受審に向けての準備について  
2. 2024年3月アジア選手権大会出場選手の募集について  
3. 第8回ジャパンオープン国際大会の開催中止(延期)について  
4. 第3回定例理事会〈12月17日開催予定〉について  
5. その他、各理事からの情報連絡

令和6年1月20日(土)20:00-21:30 第5回連絡会 ZOOM WEB 会議 (出席 17名)

討議テーマ：1. 次期5か年計画策定プロジェクトチームの進め方について  
情報共有：1. 2023年度日本選手権大会の日程の一部変更について  
2. 1月18日開催のBowls Asia 理事会出席結果報告

令和6年2月17日(土)20:00-21:30 第6回連絡会 ZOOM WEB 会議 (出席 14名)

討議テーマ：1. 次期(2025-2029年度)5か年計画策定プロジェクトチームの進捗報告  
情報共有：1. 2024年立川での男子日本選手権大会を9/21, 22に変更することで会場予約手続きを進めている。(廣内技術・競技部長)  
2. 次期5か年計画策定の関連で、日本ボッチャ協会と連携する事業が出来ないかについて両者の連絡会を2月20日(火)19時~20時にzoom会議予定。(森総務部副部長)  
3. 9/21, 22立川での男子シングルス日本選手権大会に障がい者選手が出場の場合は、東京都障がい者スポーツ協会がTV中継放送するように申込み中。(児島理事長)  
4. 4月6, 7日に香港Yuen Longクラブとの国対抗戦をしあわせの村で実施決定。同様に10月13~16日にシンガポールTanglingクラブと前半はYC&ACで、後半はしあわせの村で国対抗戦を実施予定。(森総務部副部長)

令和6年3月16日(土)20:00-21:30 第7回連絡会 ZOOM WEB会議 (出席17名)

- 討議テーマ： 1. 2024年度の行事計画案について各専門部長から口頭説明  
 2. 次期(2025-2029年度)5か年計画策定プロジェクトチームの進捗報告  
 3. 2023年度に実施した日本選手権大会の結果から出た課題についての検討  
 4. 「日本代表選手選考基準」を個々の大会ごとに作成するに際してのガイドラインについての検討

4) 専門部の活動について

\* BJ本部の専門部組織は、毎年の重点実行テーマを設定して成果の向上を期しているが、一部を除いて、なかなかその機能を十分に発揮するところまで行っていない。これは、専門性を有してリーダーシップを取れる人材がなかなか居ないということが根本的な原因と思われるが、有効な解決策もすぐには見いだせないなので、もう少し長い目で継続して行くことにする。

部名	タスク	2023年度の重点実行テーマ(計画)	2023年度の実績とその評価	部員名簿
総務部	BJ組織の維持・管理および強化・充実のための企画と実行	1. BJ会員数拡大に向けての総合的企画と調整 2. JSPOへの加盟申請手続きの着手 3. スポーツ庁ガバナンスコード適合性審査への対応 4. コンプライアンス委員会及びアスリート委員会等の開催	1. 実行できず。 2. 加盟条件に達せず、取りやめ。 3. 徐々に推進。 4. 組織は設けたが活動はできず。	部長：藤川辰美 副部長：森 紘一 部員：  関東地区： 伊藤重光 関西地区： 田中弘一、竹内義治
広報部	ローンボウルズ愛好者を増やすための普及活動およびローンボウルズの知名度、認知度をアップし、協力者を増やすための広報活動についての企画と実行	1. 新会員獲得およびスポンサー獲得を念頭に置いたホームページの充実、Facebookの多用などによる外部への発信の強化 2. 広報専門家との連携の模索(外部人材の発掘)	1. ボウルズ PR 動画を新しく制作し、SNSに投稿した。 2. 会員内からの人材発掘はある程度進んだが、コストのかかる外部人材の活用までは出来ず。	部長：吉中康子 副部長：前林典子 部員： 関東地区： 津山元子、梅田和彦 関西地区： 山田 誠、 アラン・マジエリソン オーストラリアクラブ： 大平貴士

次世代 開発部	ローンボウルズの次世代を担う会員を開発するための長期および短期の計画を立案し、実行体制を企画する。 そのために必要な財政基盤の拡充についても検討する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若い会員を増やすための計画の立案</li> <li>2. 会員数の男女比率を50 ; 50にするための計画の立案（現状は男性65 : 女性35）</li> <li>3. 短期計画としてはU-25日本選手権大会の開催を確立する。</li> <li>4. 若い会員をサポートする財源の開拓。 TKY 寄付金の募集、スポンサーの発掘、補助金・助成金の開拓など</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 京都や高知では当該クラブの活発な活動により若い会員が増えている。明石ではジュニア教室事業が2年目に入った。</li> <li>2. 女性を増やす活動は未実施。</li> <li>3. U-25大会は関西地区で第2回目を実施した。</li> <li>4. TKY 基金による国際 U-25 大会出場者への補助は継続実施できている。</li> </ol>	<p>チームリーダー： 吉中康子、関口 溜 松原敬之、合田洋子 部員：</p> <p>関東地区： 黒沢秀行、村瀬 康 小林信芳、高山紗生</p> <p>関西地区： 川本真浩、倉本宣史 井上千加子 小林綾子</p>
技術・ 競技部	日本のローンボウルズの技術レベルをアップするための企画と実行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2024年アジア大会（タイ）および2025年世界大会（香港）での上位入賞を目標としての強化指定選手の新規編成と強化訓練プログラムの推進。大会出場選手選考委員の指名も含む。（国際部と協働して）</li> <li>2. 日本選手権種目の洗練された進行による参加者拡大の達成。</li> <li>3. アンパイア資格認定試験（2年に1回）の開催および一般ボウラー対象のスキルアップとマナー向上を目的とした研修会の開催。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「選手選考委員会規程」の制定が出来た。2024年3月のアジア大会出場選手の選考は新しい規程の元で実施されたが、強化訓練プログラムの適用については一歩後退した。</li> <li>2. 日本選手権大会の開催は軌道に乗っており、参加選手数もほぼ順調であった。</li> <li>3. アンパイア資格認定試験もほぼ順当に実施できた。</li> </ol>	<p>部長：廣内鐵也 副部長：坂本紘一</p> <p>関東地区： 安藤英昭</p> <p>関西地区： 小山 潤、船引啓吾 川阪泰夫、中田照男</p>

障がい者ローンボウルズ部	障がい者へのローンボウルズの普及拡大をはかるための企画と実行	<ol style="list-style-type: none"> <li>障がい者ボウラー人数拡大に向けての活動強化</li> <li>JPC、IBD との連携強化</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>徐々にではあるが会員数の拡大は進んでいる。</li> <li>JPC,IBD との連携も良好に維持できている。</li> </ol>	部長：児島久雄 副部長：澤田昭雄 部員： 関東地区：未定 関西地区： スーザン・ヤップ 八杉 瞳、植松博至
国際部	国際的連携を強化するための企画と実行	<ol style="list-style-type: none"> <li>World Bowls、Bowls Asia との連携強化</li> <li>2024 年アジア大会（タイ）および 2025 年世界大会（香港）での上位入賞を目標としての強化指定選手の新規編成と強化訓練プログラムの推進。（技術・競技部と協働して）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>両者ともに連携は良好であるが、マンパワー不足で「ジャパンオープン国際大会」の継続は困難となった。</li> <li>2025 年世界大会（香港）は香港がホストを辞退して中止となった。</li> </ol>	部長：松岡 緑 副部長：合田純二 部員： 関東地区： 江村健一 関西地区： スティーブン・ウエッジ 三木 卓

## 5) 傘下の関東ローンボウルズ協会、関西ローンボウルズ協会活動

### 5-1) 関東ローンボウルズ協会関係

\* 関東協会の 2023 年度役員は次のとおりで運営された。

会長	松原敬之（東京 LBC）
副会長	なし 会長代行など必要な場合は事務局長が対応
事務局長兼会計	伊藤重光（YC&AC）
運営委員会議長	黒沢秀行（LB 東京）
運営委員	各クラブから 2 名

LB 東京：黒沢秀行・宮沢二郎、  
 東京 LBC：松原敬之・田中希望、  
 日栄 LB：小林信芳・松原和子、  
 YLBC：依田成史・本庄誠、  
 YC&AC：伊藤重光・石黒譲二

\* 協会運営委員会の開催：

令和 5 年 2 月 25 日（土）17:00-18:30 WEB 会議

2022 年度 BJ 関東会計報告の件、2023 年度公式試合開催予定の件、

2023 年度 BJ 関東運営委員の件、2023 年度 BJ 新役員候補の件、  
2023 年度強化選手運営の件、その他

令和 5 年 4 月 2 日（日）16:15-17:40 WEB 会議

2023 年度 BJ 関東運営委員および役員等の件、2022 年度事業報告と  
会計報告の件、

2023 年度事業計画書と予算書の件、2023 年度 BJ 関東公式試合  
開催予定の件、その他

令和 6 年 1 月 30 日（火）17:00-18:30 WEB 会議

2023 年度事業報告と会計報告の件、2024 年度公式試合  
開催予定の件、

2023 年度 BJ 関東運営委員の件、その他

\* 行事の実績：

- ① ASEAN 各国大使館員懇親イベントにおける親睦ローンボウルズ大会  
への協力は辞退

概要：数年前にも BJ が協力してきた上記イベントであるが、新型  
コロナの影響でしばらく中断されていたものを、2022 年度は再開  
するとのことで幹事（毎年回り持ち：2022 年はフィリピン大使  
館）から BJ の方へ協力依頼があつて、関東 LB 協会から人員、用  
具を提供し 11 月 12 日（土）に東京都江戸川区葛西臨海公園内の  
汐風の広場で開催した。2023 年度は監事（今回はシンガポール大  
使館）から協力依頼があつたが、開催日程が 10 月 21 日というこ  
とで、これは YC&AC で開催の女子シングルス日本選手権大会とラ  
ップしているため調整がつかず、今年度は協力を辞退すること  
になった。

- ② 東京都あきる野市でローンボウルズ体験会を開催

主催：TEAM BEYOND

協力：東京 LBC から松原敬之・和子夫妻、田中希望氏らが出張し、  
指導に従事

日時：11 月 11 日（土）12 日（日）10:00～17:00

場所：東京都あきる野市 東京都立秋留台公園（陸上競技場）

内容：「第 27 回あきる野市産業祭」という定期イベントの中で、パ  
ラ・スポーツの普及活動を推進している TEAM BEYOND という  
団体がパラ・スポーツ体験会を開催した中で「ローンボウル  
ズ体験会」も計画されたので協力した。

体験参加者 11 月 11 日（土）151 名、12 日（日）232 名

合計 383 名

- \* BJ 本部からの支出金額：関東協会活動費用 25,000 円  
東京レクリエーション協会年会費 5,000 円

## 5-2) 関西ローンボウルズ協会関係

- \* 関西協会の 2023/2024 年度役員は次のとおりで運営されている。

会長	関口 溜 (ALBC)
副会長	前林典子 (神戸ボウルズ)
事務局長	長島俊和 (ALBC)
会計	三木 卓 (学園都市ワイズ)
監事	箕浦 厚 (神戸タッチャーズ)

- \* 運営委員会開催

令和 5 年 4 月 24 日 (月) 12:00~15:00 明石公園西会議室にて

関西 LB 協会総会および第 1 回運営委員会

報告事項

- ① 2022 年度会計報告
- ② 2022 年度活動報告
- ③ 2022 年度明石公園 LB 場会計報告
- ④ 2023 年度協会役員紹介
- ⑤ 2023 年度活動計画

令和 6 年 2 月 12 日 (金) 13:30-16:00 明石公園西会議室にて

関西 LB 協会第 2 回運営委員会開催

協議事項

- ① 2023 年度大会年間予定の確認  
及び各大会サポートクラブの決定
- ② 次期運営委員の確認と役割について
- ③ M リーグ各クラブ担当者について  
明石ローンボウルズ場の利用者減への対応

報告事項

- ① 2022 年度会計中間報告
- ② 対外機関 (生涯スポーツ連合等) との対応について

- \* 関西ローンボウルズ協会が関わった地方競技大会

- ① A リーグカップ 2023 年度大会 (個人戦)

会場：明石公園ローンボウルズグリーン

開催日時：1 月以降から 12 月末までの毎月 2 回

日曜日 13:00-16:00 (7 月~9 月は 9:00-12:00)



前期（1月～6月）結果：

区分	順位	氏名（所属）	獲得ポイント
A1 リーグ	1位	西條和子（ALBC）	114.5
	2位	長島俊和（ALBC）	110.5
	3位	奥田 昭（ALBC）	105
A2 リーグ	1位	関 政美（ALBC）	91
	2位	南川義和（学園ワイズ）	86
	3位	森 紘一（学園ワイズ）	85

区分	順位	氏名（所属）	獲得ポイント
1日当りの 平均獲得 ポイント	1位	坂本紘一（神戸タッチャーズ）	13.50
	2位	魚住弘治（兵庫車いす）	12.75
	3位	小野宦司（個人）	12.71

後期（7月～12月）結果：

区分	順位	氏名（所属）	獲得ポイント
A1 リーグ	1位	長島俊和（ALBC）	130
	2位	西條和子（ALBC）	126
	3位	森 紘一（学園ワイズ） 南部貞三（ゆうゆうクラブ）	105
A2 リーグ	1位	野上哲男（神戸タッチャーズ） 垣内紀子（ALBC）	124
	3位	山崎清子（ALBC）	105

区分	順位	氏名（所属）	獲得ポイント
1日当りの 平均獲得 ポイント	1位	旭 吉功（ALBC）	12.00
	2位	青木哲夫（神戸ホウルズ）	11.38
	3位	奥田 昭（ALBC）	10.57

② Mリーグ2023年度大会（個人戦）

会場：神戸しあわせの村ローンボウルズグリーン

開催日時：前期は4月から9月の毎月2回、

後期は10月から2024年3月の毎月2回

水、日曜日 13:00-16:00（7月～9月は9:00-12:00）

結果：

前期順位	氏名 (所属)	1ゲーム当りの獲得ポイント
1位	宮崎宗久 (タッチャーズ)	6.18 ポイント/ゲーム
2位	坂本紘一 (タッチャーズ)	5.93
3位	藤川辰美 (学園ワイズ)	5.80

後期順位	氏名 (所属)	1ゲーム当りの獲得ポイント
1位	八杉 瞳 (兵庫車いす) 中田照男 (タッチャーズ)	6.00 ポイント/ゲーム
2位	小野宦司 (フリー)	5.85
3位	宮北 茂 (神戸ボウルズ)	5.56

③ SV リーグ 2023 年度前期、後期大会 (クラブ対抗戦)

会場：神戸しあわせの村ローンボウルズグリーン

開催日時：前期は4月から9月の毎月2回、

後期は10月から2024年3月の毎月2回

土、日曜日 13:00-16:00 (7月～9月は9:00-12:00)

結果：

前期順位	チーム名	獲得ポイント、得失点差
1位	学園都市ワイズ A	P=45
2位	兵庫車いす A	P=35
3位	神戸タッチャーズ C	P=29 得失点差=+7

後期順位	チーム名	獲得ポイント、得失点差
1位	学園都市ワイズ A	P=37 得失点差=+58
2位	学園都市ワイズ B	P=37 得失点差=+50
3位	兵庫車椅子クラブ B	P=33

④ 2023 年度春季明石市総合体育大会ローンボウルズ大会

主催：明石市および明石体育協会

主管：関西ローンボウルズ協会および明石市ローンボウルズ協会

会場：明石公園ローンボウルズグリーン

開催日時：4月23日(土) 9:00-17:00

種目：男女フリー・トリプルズ戦 4ゲーム実施

参加者：14チーム(42名)

結果：

順位	チーム名(選手名)
1位	ALBC(垣内紀子、小林綾子、西條和子)
2位	神戸タッチャーズ(中田照男、児玉智子、宮崎宗久)
3位	神戸ボウルズ(横井浩子、青木哲夫、前林典子、宮北茂)

⑤ 2023年度春季神戸市長賞大会

主催：関西ローンボウルズ協会

会場：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

開催日時：4月29日(土) 9:00-17:00

種目：男女フリー・トリプルズ戦 4ゲーム実施

参加者：14チーム(42名)

結果：

順位	チーム名(選手名)
1位	学園ワイズ(合田洋子、三木 卓、南川義和)
2位	神戸タッチャーズ(今給黎順古、宮崎芳江、宮崎宗久)
3位	神戸タッチャーズ(田中弘一、野上京子、坂本統一)

⑥ 明石中央体育会館インドアローンボウルズ春季大会

主催：明石市ローンボウルズ協会

会場：明石中央体育会館第1体育館

開催日時：6月12日(月) 9:00-17:00

種目：男女フリーフォアーズ戦

参加者：6チーム(24名)

結果：

順位	選手名
1位	松本惣一、西條和子、山崎清子、藤川辰美
2位	垣内元治郎、福井加代子、小野叶子、船引啓吾
3位	松本節子、松本道徳、吉中康子、合田洋子

⑦ 第36回こうべ長寿祭ローンボウルズ大会

主催：神戸市しあわせの村

主管：関西ローンボウルズ協会

会場：神戸しあわせの村ローンボウルズグリーン

開催日時：6月14日(水) 9:00-17:00

種目：男女フリー・ペアーズ戦

参加者：12チーム(28名)

結果：

順位	選手名
1位	緒方貴玄、船引啓吾
2位	加茂周治、廣重達典
3位	合田洋子、吉川潤一

⑧ 第1回京都シャンティ杯インドア・ローンボウルズ大会

主催：株式会社シャンティ

主管：関西ローンボウルズ協会、LC 京都

会場：京都市 旧京北第一小学校体育館カーペット・グリーン

開催日時：7月9日（日）8:45-17:00

種目：男女フリー・ペアーズ戦

参加者：9チーム（18名）

結果：

順位	チーム名(選手名)
1位	兵庫車いすA（植松博至、植松寿子、藤川辰美）
2位	LC 京都ニア（吉中康子、永野博美、廣内鐵也）
3位	横浜シャンティ（新井俊顕、永井皓一郎、小山 潤）

⑦ 第2回U-25 関西選手権大会

主催：関西LB協会

会場：明石公園ローンボウルズグリーン

開催日時：8月12日（土）10:00-16:00

種目：男女フリー・シングルス戦

参加者：9名

結果：

順位	チーム名(選手名)
1位	岡本直樹（LC 京都 16才）
2位	長島一颯（明石ジュニア教室 14才）
3位	坂田諒介（LB 高知 19才）

⑧ 2023年度初級者ローンボウルズ大会

主催：ひょうご生涯スポーツ大会実行委員会

主管：関西ローンボウルズ協会

会場：神戸しあわせの村ローンボウルズグリーン

開催日時：9月3日（日）9:00-17:00

種目：男女フリーペアーズ戦

参加者：6チーム（12名）

結果：

順位	チーム名(選手名)
1位	神戸タッチャーズ <sup>®</sup> (村上繁博、横井幸雄)
2位	兵庫車いす・神戸タッチャーズ <sup>®</sup> (木村和暉、中田照男)
3位	神戸タッチャーズ <sup>®</sup> (児玉智子、坂本紘一)

⑨ チャレンジボウルズ大会

主催：神戸タッチャーズクラブ

会場：神戸しあわせの村ローンボウルズグリーン

開催日時：10月14日(土) 9:00-14:00

種目：男女フリーペアーズ戦

参加者 14 チーム (28名)

結果：

順位	チーム名(選手名)
1位	神戸ボウルズ <sup>®</sup> ・個人 (小野叶子、小野宦司)
2位	兵庫車いす・神戸タッチャーズ <sup>®</sup> (木村和暉、中田照男)
3位	神戸タッチャーズ <sup>®</sup> (児玉智子、坂本紘一)

⑩ 2023年度秋季神戸市長賞大会

主催：関西ローンボウルズ協会

会場：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

開催日時：10月29日(日) 9:00-17:00

種目：男女フリー・トリプルズ戦 4ゲーム実施

参加者：14 チーム (42名)

結果：

順位	チーム名(選手名)
1位	生涯スポーツ (林 嘉雄、川阪泰夫、米田啓一)
2位	A L B C (小田 昌、旭 吉功、長島俊和)
3位	神戸ボウルズ <sup>®</sup> (山根英輝、宮北 茂、前林典子)

⑪ 明石中央体育会館インドアローンボウルズ秋季大会

主催：明石市LB協会

会場：明石中央体育会館第1体育館

開催日時：11月13日(月) 9:00-17:00

種目：男女フリーペアーズ&トリプルズ戦

参加者：6 チーム (16名)

結果：

順位	選手名
1位	合田洋子、山崎清子、小野叶子
2位	青木哲夫、森 弘子、森 紘一
3位	上田ひとみ、藤川辰美

⑫ 兵庫県民ふれあい大会ローンボウルズ大会

主催：兵庫県生涯スポーツ連合

主管：関西ローンボウルズ協会

会場：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

開催日時：11月26日（日）9:00-16:00

種目：男女フリー・ペアーズ戦

参加者：16チーム（32名）

結果：

順位	選手名
1位	植松寿子、藤川辰美
2位	井上千加子、田中弘一
3位	野上哲男、宮北 茂

⑬ 明石市総合大会ローンボウルズ秋季大会

主催：明石市体育協会

主管：関西ローンボウルズ協会、明石市ローンボウルズ協会

会場：明石公園ローンボウルズグリーン

開催日時：12月10日（日） 9:00-17:00

種目：男女フリー・トリプルズ戦

参加者：10チーム（30名）

結果：

順位	チーム名(選手名)
1位	兵庫車いす/LC京都（八杉 瞳、児島久雄、吉中康子）
2位	学園都市ワイズ（上田ひとみ、森 弘子、森 紘一）
3位	ALBC（関口伸子、小林綾子、西條和子）

⑭ 2-4-2ペアーズ大会

主催：関西ローンボウルズ協会

会場：明石公園ローンボウルズグリーン

開催日時：2024年3月23日（土）9:00-17:00

種目：男女フリー・ペアーズ戦

参加者：14チーム（28名）

結果：雨天により中止

- \* BJ本部からの支出金額：関西ローンボウルズ協会活動費用 25,000円
  - 兵庫県レクリエーション協会年会費 10,000円
  - 兵庫県生涯スポーツ連合年会費 21,000円

#### 6) ガバナンスコード適合性審査対応

2020年度から正式に、スポーツ庁による「中央競技団体向けガバナンスコード適合性審査制度」がスタートした。毎年1回、自己申告資料をホームページで公開し、4年に1回は調査委員会による審査を受けねばならない、というもので当法人は初年度(2020年度)から早速に審査を受ける対象として選定されたが、無事に「特段の問題は無しで、適合とする。」の審査結果を受領した。

2021年度、2022年度は、10月末までに「自己申告資料」を当法人のホームページに公表した。そして、2023年度についても同様に「自己申告資料」を当法人のホームページに公表し、その旨を10月5日付けBJ第23103001号文書にて日本パラスポーツ協会総務部あてに報告した。

なお「自己申告資料」に含まれる「当法人の組織運営に関する第1期中期5か年計画(2020-2024年度)」が今年度で終了することから、その成果を評価した上で第2期中期5か年計画((2025-2029年度)を策定する準備を下記の通りに開始した。

#### \* ガバナンス・コンプライアンス関連諸活動(その1:外部研修会への参加)

- ④ 令和5年5月26日(金) 18:00-19:00 zoomによるリモート・セミナーで下記の研修会を受講

名称: JPC加盟競技団体のためのインテグリティ向上研修会

主催者: 日本パラリンピック委員会(JPC)

内容: 「ハラスメント問題を予防するために」

受講者: 児島理事長ほか3名

- ② 令和5年11月24日(金) 18:00-19:00 zoomによるリモート・セミナーで下記の研修会を受講

名称: JPC加盟競技団体のためのインテグリティ向上研修会

主催者: 日本パラリンピック委員会(JPC)

内容: 「選手選考規程はどのように制定すべきか」

受講者: 児島理事長ほか5名

- ③ 令和6年1月19日(金) 18:00-19:00 zoomによるリモート・セミナーで下記の研修会を受講

名称：JPC 加盟競技団体のためのインテグリティ向上研修会

主催者：日本パラリンピック委員会（JPC）

講師：JPC 法務相談窓口センター 小塩弁護士

内容：「NF が有する権利とそれを有効活用するために必要な準備事項について」

受講者：児島理事長、藤川事務局長、森総務部副部長

\* ガバナンス・コンプライアンス関連諸活動（その2：次期5か年計画策定の準備）

① 令和5年11月10日（金）20:00-21:45 第4回BJ理事連絡会（zoomによるリモート会議）にて「ガバナンスコード適合性審査に（第2回目）向けての準備」について意見交換（出席者15名）

② 令和5年12月17日（日）20:00-21:45 第3回BJ定期理事会（zoomによるリモート会議）（出席者20名）にて

(1) 理事在任期間上限10年を定款に追記する定款改訂を承認・決定

(2) コンプライアンス委員長、副委員長の改選を承認・決定

(3) 次期（2025-2029年度）5か年計画策定プロジェクトチームを発足させることを承認・決定

③ 令和6年1月20日（土）20:00-21:45 第5回BJ理事連絡会（zoomによるリモート会議）（出席者12名）にて

(1) プロジェクトチームメンバー7名を決定した。

(2) この7名により、次期中期計画における

Vision, Mission の案の策定、SWOT 分析の実施と重要課題の整理を実施し、2月、3月の理事連絡会で発表することを決定した。

(3) 新年度の4月以降から具体的な次期中期計画の策定に入り、2024年度中にまとめることを確認した。



## 世界ボウルズ機構(World Bowls Ltd)との連帯事業

### (1) 国際大会への参加など

#### 1) ナショナルチーム派遣型大会

- \* 今年度は新型コロナウイルス感染が一段落し、国際選手権大会が復活したことで、次の通り6大会への日本代表チーム派遣が実施できた。ただし、目標としている入賞(メダル獲得)の達成はどれもならなかった。

- \* 実施日時および場所:

#### ① World Bowls Indoor Championships

主催: World Bowls

主管: Bowls Australia

期間: 2023年5月5日~14日

会場: オーストラリア・ワリラ

派遣選手: 男子 川本真浩 (LB 高知 UC)

女子 合田洋子 (学園都市ワイルド)

結果:

種目	選手名	結果成績
男子シングルス	川本真浩	0勝5敗で予選グループ6名中の最下位
女子シングルス	合田洋子	2勝2敗で予選グループ5名中の2位となり決勝進出を果たす。決勝トーナメント初戦はイングランドに敗れてベスト8には進出できず。
混合ペアーズ	合田、川本	3勝1敗で予選グループ5チーム中の2位となったが、決勝トーナメント進出は1位のみという競技フォーマットのため進出はできず。

#### ② 世界選手権大会

主催: World Bowls

主管: Bowls Australia

期間: 2023年8月29日~9月10日

会場: オーストラリア・ゴールドコースト

派遣選手: 男子 長谷部健太、佐藤寿治、江村健一、大平貴士 (オーストラリアクラブ)、廣内鐵也 (LC 京都)

女子 松岡 緑、江村裕子、佐藤正子、黒原恵子 (オーストラリアクラブ)、阿比留さゆり (LC 京都)

障がい者 児島久雄、溝口満輝 (兵庫車いす)

結果:

種目		選手名	結果成績
男子	シングルス	長谷部健太	8勝2敗で予選グループ 11名中の3位 全体順位は12位以内となり、2026年世界選手権大会の出場権を確保した。
	フォアーズ	大平貴士、廣内鐵也 佐藤寿治、江村健一	1勝7敗で予選グループ 9チーム中の最下位
	ペアーズ	大平、廣内	0勝8敗で予選グループ 9チーム中の最下位
	トリプルズ	佐藤、江村、長谷部	6勝2敗で予選グループ 9チーム中の2位で決勝ラウンドに進出。準々決勝でイングランドに惜敗し惜しくもメダルを逃す。 2026年世界選手権大会の出場権を確保した。
女子	シングルス	黒原恵子	4勝4敗で予選グループ 9名中の4位
	フォアーズ	阿比留さゆり、佐藤正子、江村裕子、松岡緑	2勝3敗で予選グループ 6チーム中の4位
	ペアーズ	阿比留、黒原	8勝2敗で予選グループ 11チーム中の3位
	トリプルズ	佐藤、松岡、江村	1勝3分け3敗で予選グループ 8チーム中の6位
障がい者	男子ペアーズ	溝口満輝、児島久雄	1勝4敗で予選グループ 6チーム中の最下位

### ③ Champion of Championships

主催：World Bowls

主管：Bowls Australia

期間：2023年9月12日～16日

会場：オーストラリア・ゴールドコースト Robina Bowls Club

派遣選手：男子 小山 潤 (LC 京都)

女子 松岡 緑 (オーストラリアクラブ)

結果：

種目	選手名	結果成績
男子シングルス	小山 潤	3勝4敗で予選グループ 6名中の5位
女子シングルス	松岡 緑	3勝4敗で予選グループ 8名中の5位

### ④ アジア・パラ競技大会

主催：APC (アジア・パラ競技大会委員会)

主管：IBD (国際障がい者ローンボウルズ連盟)

期間：2023年10月22日～28日

会場：中国浙江省杭州市

派遣選手：男子 児島久雄 (兵庫車いす)

女子 松本節子 (兵庫車いす)

結果：

種目	選手名	結果成績
男子シングルス	児島久雄	1勝3敗で予選グループ5名中の最下位
女子シングルス	松本節子	0勝4敗で予選グループ5名中の最下位
混合ペアーズ	松本、児島	1勝2敗で予選グループ4チーム中の3位となって決勝トーナメント進出はできず。

⑤ 世界ジュニア(U-25) 選手権大会

主催：World Bowls

主管：International Indoor Bowls Council

期間：2023年12月3日～8日

会場：英国スコットランド East Kilbride Indoor Bowling Club

派遣選手：男子 長本祐太 (LB 高知 UC)

結果：

種目	選手名	結果成績
男子シングルス	長本祐太	2勝2敗で予選グループ5名中の3位
混合ペアーズ	長本祐太 Aimee Harris (スコットランド)	2勝1敗であったが予選グループ4チーム中に2勝1敗が3チームあり獲得セット数差でおしくも3位となり決勝進出は逃した。

⑥ 第15回アジア選手権大会および第13回アジア U-25 大会 2024

主催：アジア・ローンボウルズ連盟 (Bowls Asia)

主管：タイ・ローンボウルズ連盟

期間：2024年3月3日～10日 会場：タイ・パタヤ

派遣選手：男子 小山 潤、廣内鐵也、井上博樹 (LC 京都)、  
森 紘一、合田純二 (学園都市ワイズ)

女子 松岡 緑 (オーストラリアクラブ)、合田洋子 (学園都市ワイズ)、  
高山紗生、小林麻衣子 (東京 LBC)  
津山元子 (YC&AC)

U-25 島 瑚々奈、島 隆叶 (LC 京都)

マネジャー兼リザーブ 阿比留さゆり、島 美里 (LC 京都)

結果：予選ラウンド

種目		選手名	予選ラウンドの結果成績
男子	シングルス	小山 潤	1勝3敗。5人中の4位
	フォアーズ	井上博樹、廣内鐵也 合田純二、森 紘一	0勝4敗(内、1敗は不戦敗)。 5チーム中の5位
	ペアーズ	合田、森	1勝3敗。5チーム中の4位
	トリプルズ	井上、廣内、小山	1勝3敗。5チーム中の5位
女子	シングルス	松岡 緑	2勝2敗。5人中の3位
	フォアーズ	合田洋子、津山元子 小林麻衣子、高山紗生	3勝0敗。4チーム中の1位で決勝トーナメントに進出。

	ペアーズ	合田、松岡	1勝2敗。4チーム中の3位
	トリブルズ	津山、小林、高山	2勝1敗。4チーム中の2位で決勝トーナメントに進出。
U-25	男子シングルス	島 隆叶	0勝3敗。4人中の4位
	男子シングルス	島 瑚々奈	0勝3敗。4人中の4位
	ミックスペアーズ	島 瑚々奈、島 隆叶	0勝3敗。4チーム中の4位

#### 決勝トーナメント戦（ベスト4として準決勝に進出）の結果

種目	出場選手	対戦相手	対戦結果
女子 トリブルズ	リード 津山元子 セカンド 小林麻衣子 スキップ 高山紗生	フィリッピン (別予選グループの 1位チーム)	11 : 15 で惜敗。 3位となり銅メダ獲得 (3位決定戦はない)
女子 フォアーズ	リード 合田洋子 セカンド 津山元子 サード 小林麻衣子 スキップ 高山紗生	マレーシア (別予選グループの 2位チーム)	12 : 16 で惜敗。 3位となり銅メダル獲得 (3位決定戦はない) なお勝ったマレーシア は決勝戦でもフィリッ ピンを破り優勝した。

## 2) 希望者参加型大会

- \* 7月20日から25日までタイ・パタヤのCOCOクラブ(インドア・カーペット・グリーン)で開催された2023 COCO Open Triples Tournamentに神戸から2チーム、が参加し、おもに地元クラブのボウラーとの親睦・交流をはかった
- \* 7月26日から30日までタイ・バンコクのRBSC (ロイヤル・バンコク・スポーツ・クラブ) (屋外天然芝グリーン)で開催された2023 RBSC Open Triples Tournamentに神戸から2チーム、横浜 YC&AC から3チームが参加し、アジア地域から集まった多くのボウラーたちとの親睦・交流をはかった。

## 3) 海外在住日本人選手の活躍

- \* 当法人には海外（主としてオーストラリア）に在住している日本人ボウラーも少数ではあるが登録されており、現地の大会で優秀な成績をおさめて活躍している選手がいる。日本を認知してもらうことで日本へのインバウンドにもつながることも期待される。今年度の実績としては下の例が特記される。
  - ① 長谷部健太選手（母親が日本人、父親はニュージーランド人であり、現在はオーストラリア・シドニーに在住）は、オーストラリアのトップ・プレーヤーのみによって構成されている「プレミア・リーグ」でプレーしてい

るただ一人の日系人である。これまではニューサウスウェールズ州の St. Johns Park というクラブに所属して「プレミア・リーグ」に出場していたが、2024年度はクイーンズランド州の Drayton というクラブからヘッドハントされて、来年度からはニューサウスウェールズ州の「プレミア・リーグ」とクイーンズランド州の「プレミア・リーグ」との両方でプレーすることになった。

## (2) 外国選手が来日しての国内交流イベントの開催

1) 今年度に海外からの来訪の実績は次の2件であった。

\* 実施日時および場所：

① 2023年6月21日(水)～22日(木)の2日間にわたって UAE(アラブ首長国連邦)の Unique Bowls Organizing Sports Competitions L. L. C. クラブから17名のボウラーが来日し神戸駅前センチュリオン・ホテルに宿泊し、神戸市しあわせの村グリーンでローカルプレーヤーと親善ゲームを持った。

② 2023年12月14日(木)～16日(土)まで韓国のボフンクラブから障がい者ボウラー8名と役員、付き添いを含めた約20名の団体が来訪し、神戸市しあわせの村グリーンで日本側の障がい者チームおよび健常者の混成チームとの親善ゲームを持った。

2) 2026年10月に愛知県名古屋市で開催することが決定している第5回アジア・パラ競技大会にローンボウルズ種目を加えていただく事については、当法人としても愛知県庁を訪問してお願いしたり、さらに今年度は World Bowls 会長およびアジア・ローンボウルズ連盟会長からそれぞれ別個に親書を愛知県知事に出してもらっていたが、12月になって第5回アジア・パラ競技大会実行委員会から「今大会の競技種目には含まれないことに決定した。」旨の連絡が来た。愛知地区に専用の競技場が無く、国内競技人口も少ないことがその理由であるものと思われる。